

第 2 次総合振興計画

各施策に係る進捗状況調査結果報告書

令和 4 年 1 0 月

南部町

1 調査の目的

本調査は、第2次南部町総合振興計画（H30～R9の10年計画）策定から3年が経過したことに伴い、その適正な進行管理を行うとともに、実効性を確保し、施策及び事務事業の効率的かつ効果的で着実な推進を図ることを目的として、現在の進捗状況等をまとめたものです。

2 調査概要

- | | |
|--------|--------------------------------|
| ①調査事項 | 総合振興計画に記載している各施策ごとの数値目標に係る進捗状況 |
| ②調査基準日 | 令和4年3月31日 |
| ③調査期間 | 令和4年5月16日～令和4年6月17日 |
| ④調査対象 | 全課等 |

3 進捗状況調査結果報告

40施策の数値目標に係る進捗状況調査結果及び検証

→ 「進捗状況調査結果報告」のとおり

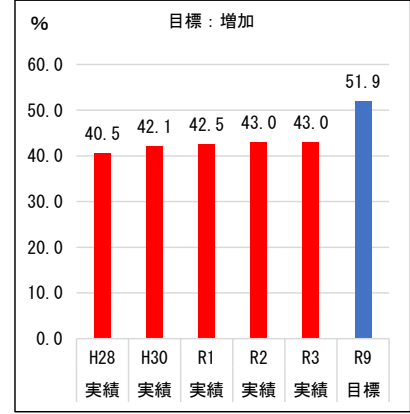
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	1	産業振興で活力と交流に満ちたまち	施策 の方 針	・安全・安心な食料生産拠点を目指す農業は、農業生産基盤の整備、農業の担い手の育成、耕作放棄地の発生防止、認定農業者などへの農地集積、地産地消の環境保全型農業の促進などの施策を展開するとともに、特産物の開発、ブランド化などを図ります。 ・林業は、木材の生産をはじめ、自然環境の保全や災害の防止、癒しなどの森林の持つ多面的機能の活用を図ります。
政策	1	地域を支える農業の振興		
施策	1	農林業の振興		

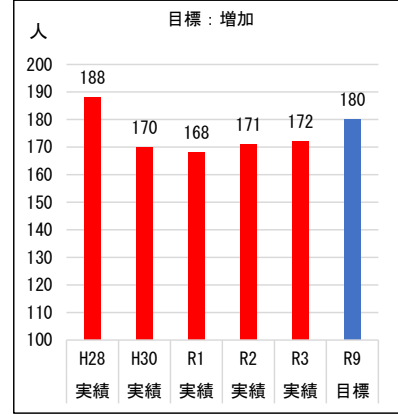
数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 実績	R9 目標	数値目標設定の考え方
1	担い手への農地利用集積率	%	40.5	42.1	42.5	43.0	43.0	49.5					51.9	農業生産基盤の整備により認定農業者等への農地集積を向上させ、集積率51.9%を目指す。
2	認定農業者数	人	188	170	168	171	172	310					180	地域農業の担い手への農地の集積・集約化の促進や経営所得安定対策等の支援により認定農業者数180人を目指す。
3	新規就農者数（累計値）	人	53	60	70	74	82	65					100	担い手確保のため、新規就農者の受入れ及び支援体制を整備し、情報や研修機会の提供により年平均3人増加を目指す。
4	りんご海外輸出額（量）	千円/年	6,302	6,576	7,456	5,197	3,761	11,440					8,850	輸出による農家のさらなる所得向上に向けて海外輸出支援を行うことにより、年間輸出額の向上を目指す。

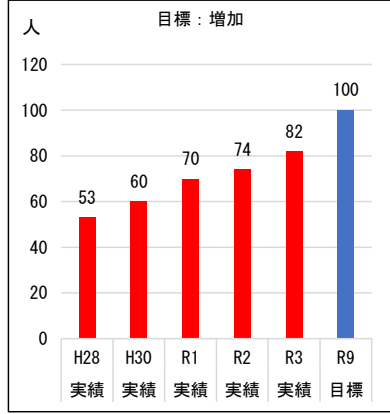
1. 担い手への農地利用集積率



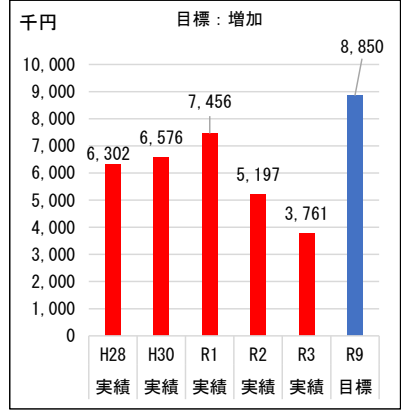
2. 認定農業者数



3. 新規就農者数



4. りんご海外輸出額



令和4年3月31日時点での検証・評価

- 「1. 担い手への農地利用集積率」は、横ばい状態です。目標達成には、農地中間管理機構等との連携に合わせ各農家への支援・指導が必要です。
- 「2. 認定農業者数」はR4の目標値とは乖離しているものの、ここ数年で増加に転じています。※R9の目標値の見直し（310→180）を行いました。
- 「3. 新規就農者数」は、順調に推移しています。
- 「4. りんご海外輸出額」については、R1まで順調に推移していたものの、R2、3年度は新型コロナウイルスの影響が現地の景気に表れて引き合いが弱まったものと考えられます。

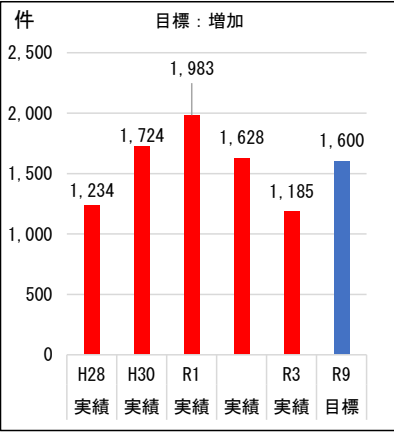
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	1	産業振興で活力と交流に満ちたまち	施策の方針	・魅力ある商業拠点の再生・整備を進めます。 ・商業団体の育成・強化を図りながら、商業経営の強化や地産地消、特産品の開発・販売を促進します。
政策	2	賑わいと暮らしを支える商工業の振興		
施策	2	商業の振興		

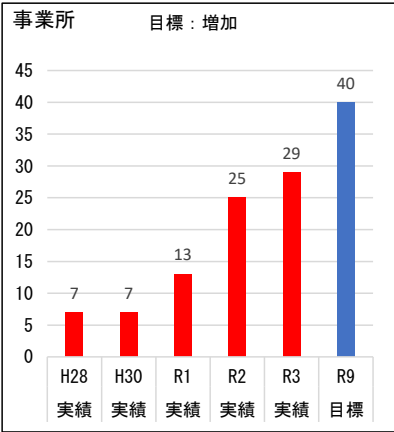
数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 実績	R9 目標	数値目標設定の考え方
5	経営指導員による年間指導件数	件	1,234	1,724	1,983	1,628	1,185	1,400					1,600	商工会による会員事業者の経営指導や事業運営の改善指導に係る人件費等を支援し、指導件数年間1,600件を目指す。
6	新規開業事業所数（累計値）	事業所	7	7	13	24	27	10					40	新規創業希望者への伴走支援等を行うことで、毎年2事業所の増加を目指し計画期間内累計40事業所を目指す。
7	卸売業・小売業の商店数	店	179	163	187	176	188	161					146	後継者不足等の影響から減少傾向にあるが、金融対策支援などの各種支援や新規創業により毎年の減少幅を3店舗に抑える。
8	年間商品販売額	百万円	15,063	—	—	—	—	12,228					11,110	商店数が減少することからその割合に応じた減少幅とし、各種支援を行いながら111億1千万円の販売額の確保を目指す。
9	買い物支援事業の利用者数	人	29	42	46	48	48	100					60	高齢化社会の進展による買い物弱者の増加が見込まれるため、さらなる事業品質の向上等により利用者100人を目指す。

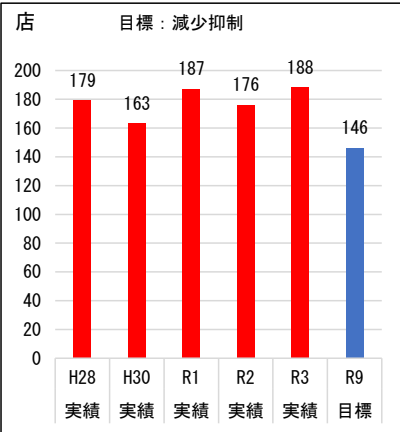
5. 経営指導員による年間指導件数



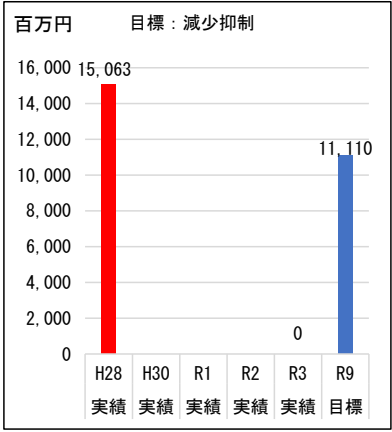
6. 新規開業事業所数（累計値）



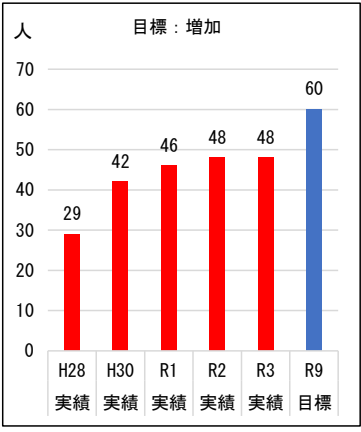
7. 卸売業・小売業の商店数



8. 年間商品販売額



9. 買い物支援事業の利用者数



令和4年3月31日時点での検証・評価

- 「5. 経営指導員による年間指導件数」は、昨年度は新型コロナウイルスの影響により訪問指導が思うようにできず減少しています。
- 「6. 新規開業事業所数」は、創業希望者への支援策により順調に推移しています。
- 「7. 卸売業・小売業の商店数」は、R3は増加し、H28の実績値を上回っています。
- 「8. 年間商品販売額」については、令和3年度の経済センサスの結果が令和4年度以降に出る予定です。
- 「9. 買い物支援事業の利用者数」は、徐々に増加傾向にあります。目標達成に向けて情報提供やPR、勧誘等を行っていく必要があります。

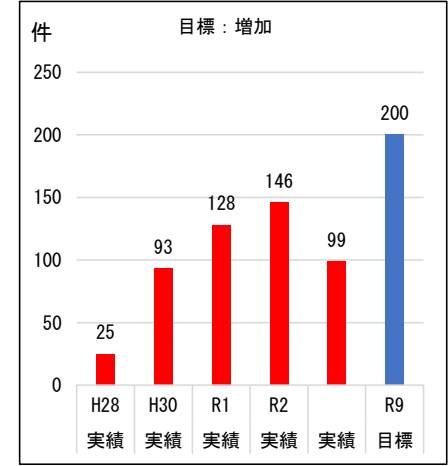
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	1	産業振興で活力と交流に満ちたまち	施策の方針	・既存企業および既存誘致企業が、社会・経済情勢の変化に的確に対応できるよう育成および体質強化を図るとともに、環境と共生する新たな優良企業などの誘致に努めます。 ・地域に根ざした地場産業や地域資源を活用した企業などの企業間の連携体質の強化、安定的経営、新たな地場製品の開発などに向けた取組を支援します。
政策	2	賑わいと暮らしを支える商工業の振興		
施策	3	工業の振興		

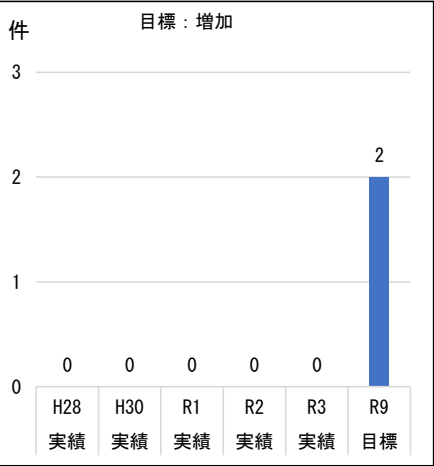
数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R8 目標	R9 目標	数値目標設定の考え方
10	融資制度利用件数	件	25	93	128	146	99	100					200	企業を取り巻く環境は依然厳しいため、金融機関と連携した制度融資について年間20件、累計200件の利用を目指す。
11	誘致企業数（累計値）	件	0	0	0	0	0	1					2	税制優遇など各種支援制度の周知や他団体及び既存誘致企業との連携により累計2件の企業誘致を目指す。
12	製造品出荷額	百万円	15,359	12,671	13,404	13,825	13,825	18,319					19,984	町内工業者や誘致企業に対する情報提供や支援を充実させ、平成28年度の実績値をベースに年間2%の増加を目指す。

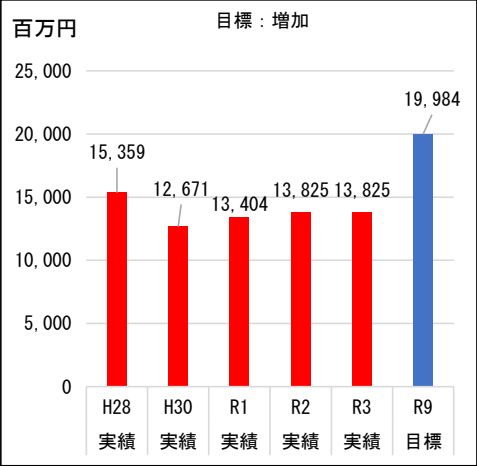
10. 融資制度利用件数



11. 誘致企業数



12. 製造品出荷額



令和4年3月31日時点での検証・評価

- 「10. 融資制度利用件数」は、昨年度は減少していますが、おおむねR4目標水準近い利用件数となっています。
- 「11. 誘致企業数」は、目標達成には、既存誘致企業や他団体との情報交換及び企業への営業活動が必要ですが、昨年度は新型コロナウイルスの影響により実施できませんでした。
- 「12. 製造品出荷額」はここ数年横ばいで推移しています。目標達成には、経済情勢や会社の動向を把握するとともに情報提供や各種支援をしていく必要があります。

第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	1	産業振興で活力と交流に満ちたまち	施策 の方 針	・若者の雇用機会の創出・拡充、失業者をはじめ高齢者・女性・障がい者などの雇用促進に努めるとともに、勤労者福祉の充実に努め、すべての就業者が生きがいを持ち、快適に働ける環境づくりを推進します。 ・地域資源を活用した起業の可能性について、調査・研究を行います。
政策	3	新たな活力を生み出す雇用対策の推進		
施策	4	雇用環境の整備		

数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目	単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R8 目標	R9 目標	数値目標設定の考え方
数値目標なし		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

令和4年3月31日時点での検証・評価

・八戸圏域連携中枢都市圏としての取り組みで首都圏における就・転職フェア等に出展する企業などに支援を行っていますが、制度が充分周知されていないようです。そのような現状を改善し、事業者が優秀な人材を獲得できる機会を活かせるようPRしていく必要があります。

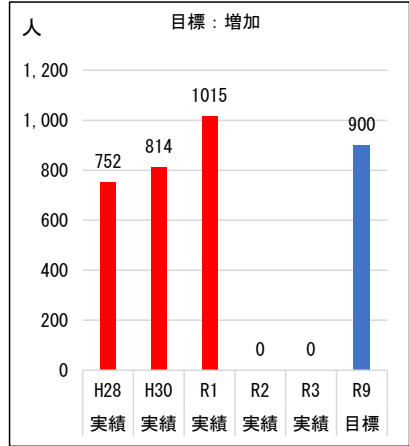
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	1	産業振興で活力と交流に満ちたまち	施策の方針	・農業体験や農業体験型民泊などを通じて、地域の人々との交流を楽しみ、地域の伝統行事にふれ、心身のリフレッシュを図るグリーン・ツーリズムの一層の充実に努めます。 ・本町の持つ景観・文化・町民の温かい人柄などの地域資源を活かして来訪者との交流を深め、将来的には定住を目指していくバーチャルピレッジ達者村では、達者村振興計画に基づき、さらなる交流・滞在・定住促進に向け、受け入れ環境の整備を図るとともに、本町の文化・自然資源などを全国に向けて情報発信します。 ・本町の四季に触れ、楽しい思い出がつくれる通年農業観光四季のまつりについては、体験内容の充実に努めます。
政策	4	交流を促進する観光・交流産業の振興		
施策	5	交流人口の拡大		

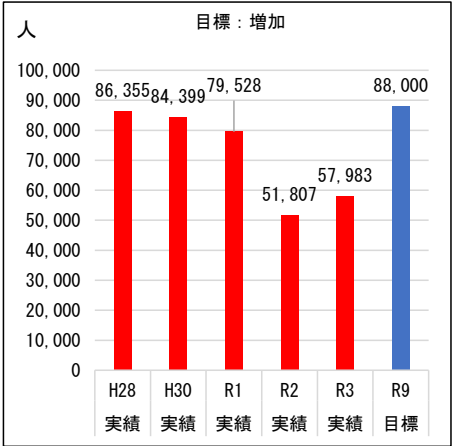
数値目標（ベンチマーク）と実績

項目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R8 目標	R9 目標	数値目標設定の考え方
13	農業体験（修学旅行）の受け入れ者数	人	752	814	1,015	-	-	900					900	継続した農業体験修学旅行等の受け入れと新規開拓により年間900人の受け入れを目指す。
14	通年農業観光の来訪者数	人	86,355	84,399	79,528	51,807	57,983	88,000					88,000	四季のまつりのPRを推進するとともに新規受入先の掘り起こしで顧客収容力を確保しながら毎年H28実績値の2%増を目指す。
15	民泊受け入れ先数	戸	28	29	28	28	28	28					32	受入登録者の高齢化等による減少が進む中、新規受入希望者を開拓しながら現状維持を目標とする。
16	外国人の年間民泊者数	人	211	63	203	-	2	220					220	三沢基地や県内外のインバウンド案内施設での農業観光のPRやSNSを通じたPRを行うことにより年間民泊者数240人を目指す。

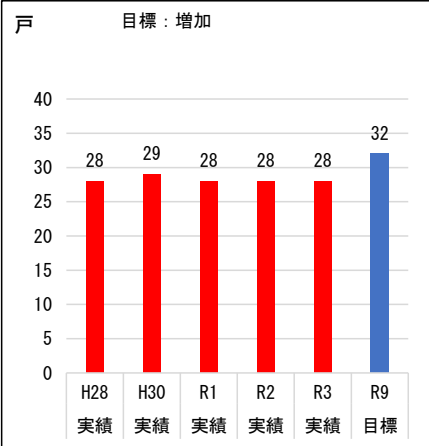
13. 農業体験の受け入れ者数



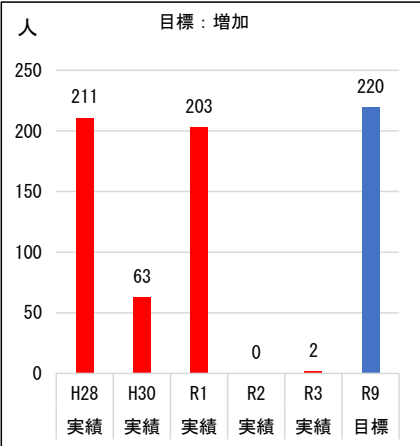
14. 通年農業観光の来訪者数



15. 民泊受け入れ先数



16. 外国人の年間民泊者数



令和4年3月31日時点での検証・評価

- ・「13. 農業体験受け入れ者数」は、R2、R3は新型コロナウイルス感染拡大防止のため受け入れを中止しています。
 - ・「14. 通年農業観光の来訪者」は、R2、R3は新型コロナウイルス感染拡大の影響により来訪者が減少しています。
 - ・「15. 民泊受け入れ先数」は、現状を維持しています。
 - ・「16. 外国人の年間民泊者数」は、R2、R3は新型コロナウイルス感染拡大防止のため受け入れを中止していますが、R3は県のモデル事業により、特例的に2名を受け入れました。
- いずれもアフターコロナにおいて、早期に現状回復するよう準備をしていく必要があります。

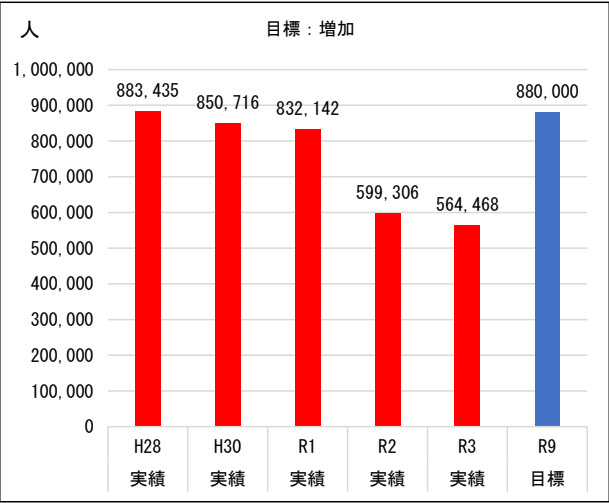
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	1	産業振興で活力と交流に満ちたまち	施策の方針	・南部藩関連遺跡をはじめとするロマンあふれる史跡、えんぶりをはじめとする伝統芸能などの既存観光資源の整備・活用を図るとともに、町内観光・交流資源のネットワーク化を進めます。 ・広域・町内の観光推進体制の整備、PR活動の充実、交通体制・案内標識などの整備を進めていくとともに、観光客・来訪者に対するホスピタリティの醸成に努めます。
政策	4	交流を促進する観光・交流産業の振興		
施策	6	観光の振興		

数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R8 目標	R9 目標	数値目標設定の考え方
17	年間観光入込客数	人	883,435	850,716	832,142	599,306	564,468	950,000					880,000	観光客の受入体制を強化し、既存の観光資源をより魅力的なものにしていくことで年間88万人を目指す。

17. 年間観光入込客数



令和4年3月31日時点での検証・評価

・「17. 観光入込客数」は、R2、3ともに新型コロナウイルスの影響により大きく減少しています。アフターコロナに向け、イベントのブラッシュアップなど準備をしていく必要があります。

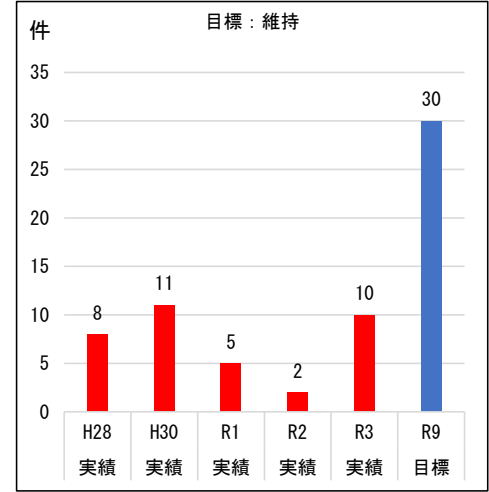
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	1	産業振興で活力と交流に満ちたまち	施策の方針	・移住希望者に対して、情報発信や受け入れ環境の強化を図ります。 ・圏域が一丸となって魅力の発信力を高めていくために、圏域全体の情報を集約し、移住希望者がワンストップで情報収集できる窓口等を整備し、移住の受け入れを促進します。
政策	4	交流を促進する観光・交流産業の振興		
施策	7	移住の促進		

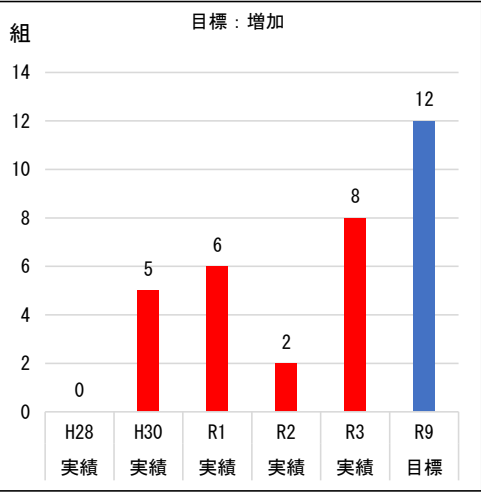
数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R8 目標	R9 目標	数値目標設定の考え方
18	空き家バンクの登録件数	件	8	11	5	2	10	10					30	空き家の増加防止及び移住促進に向けて制度を広く周知し、年間12件の新規登録を目指す。
19	おためし住宅の年間利用者数	組	0	5	6	3	8	10					12	移住促進に向けて交流人口、関係人口を増やすとともに定住につなげるため、年間12組を目指す。

18. 空き家バンクの登録件数



19. おためし住宅の年間利用組数



令和4年3月31日時点での検証・評価

・「18. 空き家バンク登録件数」は、R2はコロナ禍の影響で減少しましたが、高齢化や過疎化に伴いバンクのニーズは高まっており、R3は登録が進んでいます。
・「19. おためし住宅の年間利用組数」は、R2から実施していた施設の修繕工事が完了し、施設の受け入れを再開したことや新型コロナ対策を十分に行ったことで、R3の利用組数は増加しています。

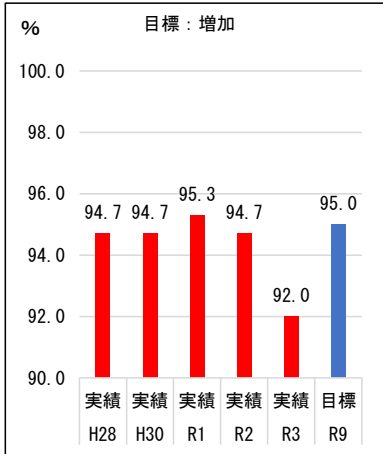
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	2	保健・医療・福祉が充実して安全・安心・快適に暮らせるまち	施策の方針	・すべての町民が生涯にわたって健康でいきいきと暮らせるよう、「健康増進計画」に基づき、町民の健康意識の高揚と自主的な健康づくりを促進するとともに、安心して子どもを産み育てられる母子保健体制の整備、生活習慣病予防を柱とした成人保健の充実、歯科口腔保・精神保健の推進、感染症対策の充実など、生涯における各年代に応じた保健事業の充実に努めます。 ・疾病の発見・治療・リハビリテーションなどの一貫した医療サービスに対するニーズに応えるため、医療機能を備えた拠点整備に努めます。また、休日・夜間・救急などの医療ニーズに応えるため、民間医療機関との連携や広域的連携強化による地域医療体制の構築を図るとともに、保健・医療・福祉が連携した地域包括ケアシステムの機能を拡充します。
政策	5	健康に暮らせる保健・医療・福祉の充実		
施策	8	保健・医療体制の充実		

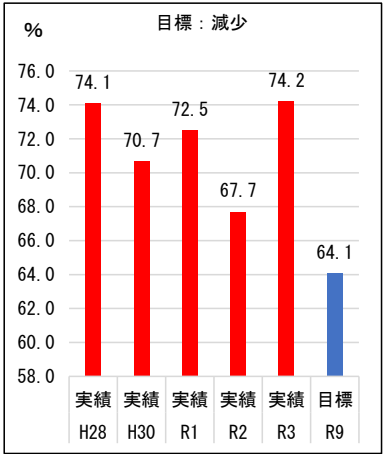
数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R8 目標	R9 目標	数値目標設定の考え方
20	乳幼児健診受診率	%	94.7	94.7	95.3	94.7	92.0	95.0					95.0	乳幼児健診（乳児・1歳6ヶ月児・3歳児）すべてで受診率の増を目指す。
21	若年生活習慣病予防健診異常率	%	74.1	70.7	72.5	67.7	74.2	69.1					64.1	生活習慣病予防健診における異常率を平成28年度の実績をベースに計画期間内で10%の減少を目指す。
22	特定健診受診率	%	47.0	46.5	46.8	46.6	46.1	60.0					60.0	厚生労働省の定める第3期特定保健指導実施率の保険者の目標値を目指す。
23	特定保健指導実施率	%	60.8	52.5	67.1	50.7	58.2	60.0					60.0	厚生労働省の定める第3期特定保健指導実施率の保険者の目標値を目指す。
24	自殺死亡率（人口10万対）	人	33.4	29.0	23.7	41.7	46.1	26.7					26.7	厚生労働省による目標値にならない、自殺死亡率30%減少を目指す。

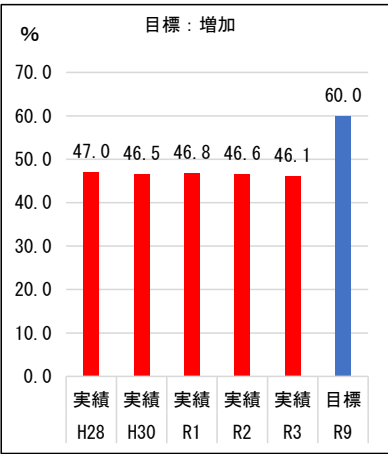
20. 乳幼児健診受診率



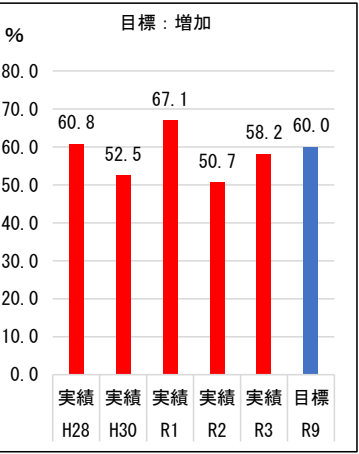
21. 若年生活習慣病予防健診異常率



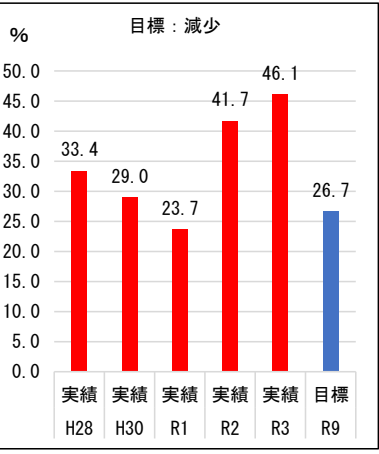
22. 特定健診受診率



23. 特定保健指導実施率



24. 自殺死亡率



令和4年3月31日時点での検証・評価

- ・「20. 乳幼児健診受診率」のR3の落ち込みは、コロナ禍による影響が考えられます。乳幼児の健康保持、異常の早期発見のため今後も健診内容の充実、費用の助成など乳幼児健康促進事業を継続する必要があります。
- ・「21. 若年生活習慣病予防健診異常率」は、R3は異常率が上昇しR4目標から大きくかけ離れています。中学生の頃から生活習慣病予防に対する意識付けを図る必要があります。
- ・「22. 特定健診受診率」は、毎年11月確定のため見込数値となります。引き続き、対象者に広く周知し、その必要性を知っていただく必要があります。
- ・「23. 特定保健指導実施率」は、毎年11月確定のため見込数値となりますが、今年度は上昇見込みとしております。医療機関と連携した受診勧奨や環境整備を図る必要があります。
- ・「24. 自殺死亡率」は、昨年度は大きく上昇し、コロナ禍による影響が考えられます。ゲートキーパーの養成や自殺志願者への支援が必要です。

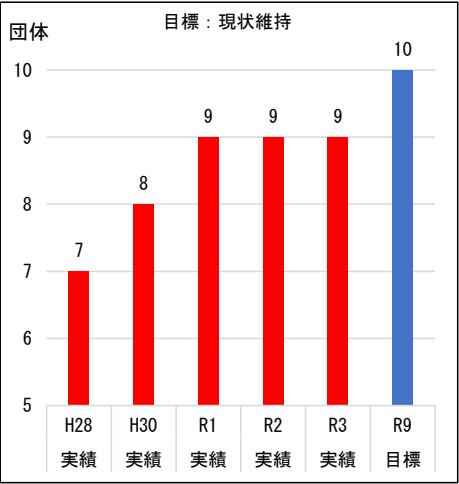
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	2	保健・医療・福祉が充実して安全・安心・快適に暮らせるまち	施策の方針	・すべての町民が地域の中で支え合い、ともに生きることができるよう、「地域福祉計画」に基づき、地域福祉ネットワークを整備していくとともに、地域福祉団体や福祉ボランティアなどの育成および活動支援に努めます。
政策	5	健康に暮らせる保健・医療・福祉の充実		
施策	9	地域福祉の充実		

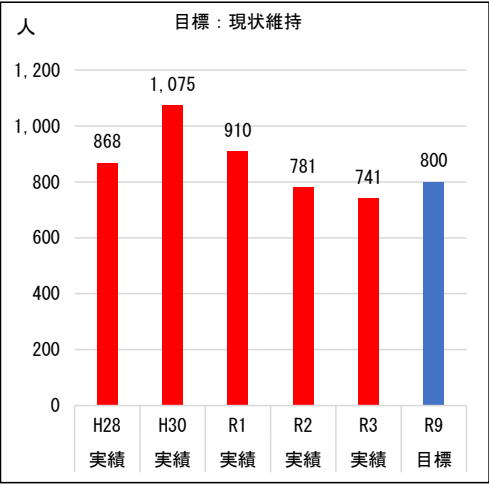
数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R8 目標	R9 目標	数値目標設定の考え方
25	ボランティアセンターの登録団体数（福祉関係）	団体	7	8	9	9	9	8					10	ボランティアの橋渡し役となるボランティアセンターの登録団体数は減少傾向にあることから、現状維持を目指す。
26	ボランティアセンターの登録者数（福祉関係）	人	868	1,075	910	781	741	890					800	登録者数は減少傾向にあることから、現状維持を目指す。

25. ボランティアセンターの登録団体数



26. ボランティアセンターの登録者数



令和4年3月31日時点での検証・評価

- ・「25. ボランティアセンターの登録団体数」は、R 4 目標値を達成し現状を維持している状態にあります。
- ・「26. ボランティアセンターの登録者数」は、H30から減少傾向にあります。登録希望者の掘り起こしを行う必要があります。

第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

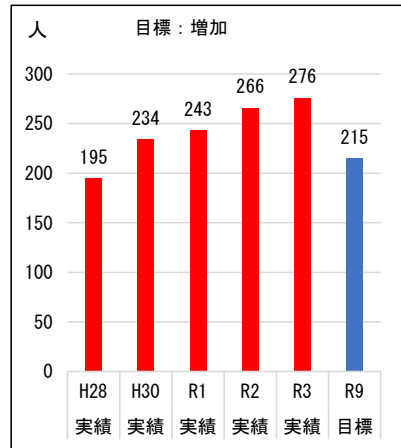
基本目標	2	保健・医療・福祉が充実して安全・安心・快適に暮らせるまち	施策の方針	・次世代を担う子どもや子育て家庭を支援するため、「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、利用者の多様なニーズに対応した幼稚園・保育園・放課後児童クラブ機能の一層の充実を図ります。 ・医療費助成の拡充など、子育て家庭への経済的支援や子育てに関する不安の解消に向けて地域で支える子育て支援ネットワークの形成などに努め、安心して子どもを産み育てられる環境をつくります。
政策	5	健康に暮らせる保健・医療・福祉の充実		
施策	10	結婚・出産・子育て支援の推進		

数値目標（ベンチマーク）と実績

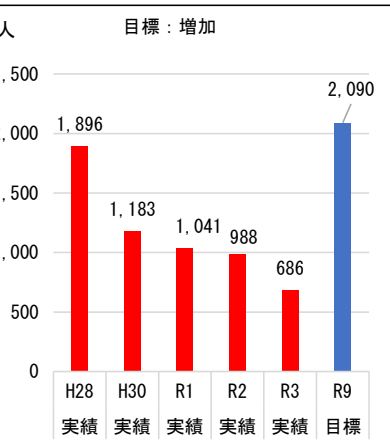
項目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R8 目標	R9 目標	数値目標設定の考え方
27	放課後児童クラブ利用者数	人	195	234	243	266	276	219					215	少子化により児童数は減少傾向にあるが、親の就労環境の多様化により利用数は増加傾向にあるため年間215人を目指す。
28	子育て支援センター年間利用者数（延人数）	人	1,896	1,183	1,041	988	686	1,990					2,090	子育て家庭の育児不安などに対する相談・支援人数について、平成28年度実績値の10%増を目指す。
29	延長保育年間利用者数（延人数）	人	13,663	11,837	11,592	15,349	14,549	12,000					12,000	親の就労環境の多様化により利用数は増加傾向にあるため、平成28年度実績値の10%増を目指す。
30	一時保育年間利用者数（延人数）	人	243	261	306	185	179	255					267	親の就労環境の多様化により利用数は増加傾向にあるため、平成28年度実績値の10%増を目指す。

※「29. 延長保育年間利用者数」は、実人数による目標から年間延人数による目標にカウント方法を変更しております。

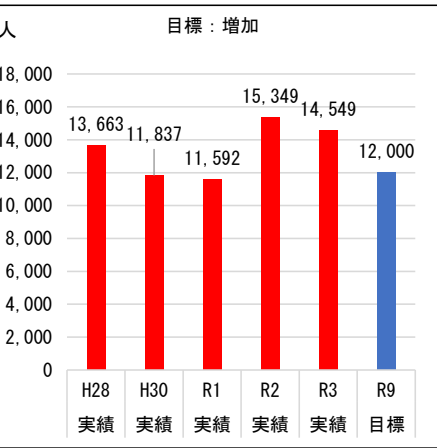
27. 放課後児童クラブ利用者数



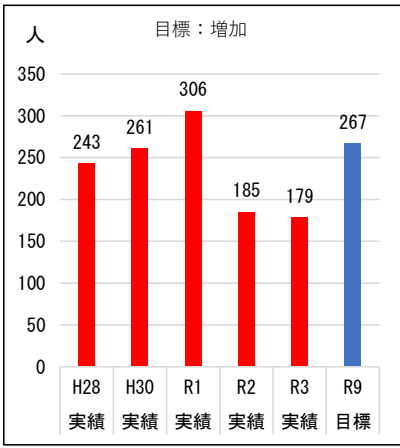
28. 子育て支援センター年間利用者数



29. 延長保育年間利用者数



30. 一時保育年間利用者数



令和4年3月31日時点での検証・評価

- ・「27. 放課後児童クラブ利用者数」は、親の就労環境の多様化により増加傾向にあります。今後は、小学校の統廃合後のクラブの運営方法などを早期に検討する必要があります。
 - ・「28. 子育て支援センター年間利用者数」は、児童数の減少に伴い減少傾向にあります。今後も子育て親子への交流の場の提供や子育てに関する相談、支援が必要です。
 - ・「29. 延長保育年間利用者数」は、R2、R3ともに目標を上回っています。今後も親の就業形態の多様化などに伴って生じる保育需要に対応していく必要があります。
 - ・「30. 一時保育年間利用者数」は、R2、R3とも新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少していますが、今後も家族の急病や就労形態の多様化などに伴って生じる保育需要に対応していく必要があります。
- ※「27、28、29、30」のいずれのベンチマークも町の取り組みとの相関より、各家庭の状況による影響が大きいため、次年度よりベンチマークから除外します。

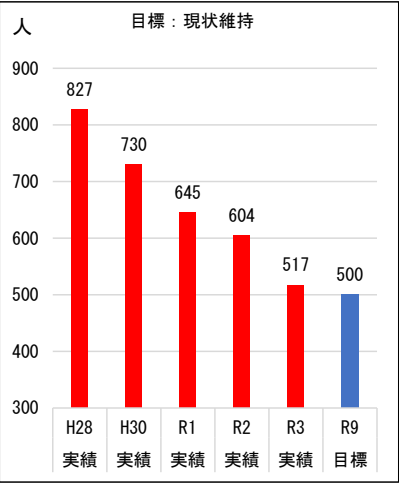
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	2	保健・医療・福祉が充実して安全・安心・快適に暮らせるまち	施策の方針	・高齢者が住み慣れた地域の中で安心して生活し、生きがいを持って社会参加ができるよう、在宅福祉事業の充実や老人クラブ活動などの支援に努めます。 ・「介護保険事業計画」および「高齢者福祉計画」に基づき、地域包括ケアシステムの機能拡充に向けた高齢者支援施策を計画的に推進するとともに、地域における自主的な介護予防の普及、認知症支援の充実にも努めます。 ・多様化する町民ニーズに対応するため、各種団体や町民との連携により、多様な生活支援体制の構築に努めるとともに、支え合いの地域づくりを推進します。 ・「介護保険事業計画」に基づき、介護保険制度の適正な運営に努めます。
政策	5	健康に暮らせる保健・医療・福祉の充実		
施策	11	高齢者福祉の充実		

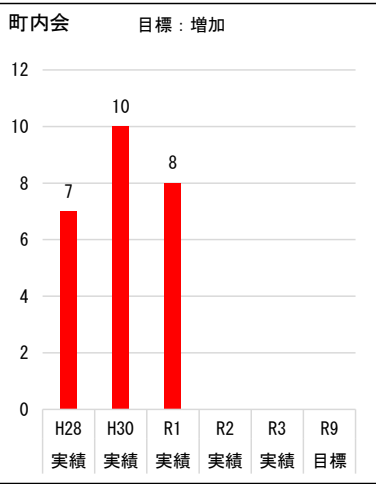
数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R8 目標	R9 目標	数値目標設定の考え方
31	65歳以上の老人クラブ加入者数	人	827	730	645	604	517	760					500	老人クラブ数、加入者数は減少傾向にあるが、老人クラブ活動や高齢者の社会参加を支援することで現状維持を目指す。
32	介護予防教室を実施している町内会数	町内会	7	10	8	-	-	-	-	-	-	-	-	町内会委託型の「地区介護予防教室」はR1で終了。R2から「ご近所ふれあいサロン助成事業」に移行。
33	認知症サポーター数	人	1,265	1,435	1,594	1,645	1,658	1,955					2,138	認知症サポーター養成事業により、認知症の正しい知識と理解を持ったサポーターの育成に努めることで毎年度80人の増加を目指す。
34	65歳以上人口に占める要介護認定率	%	18.7	17.7	17.8	17.9	17.3	18.3					17.0	各種介護予防事業や介護予防ケアマネジメントの推進により、要介護認定率を17.0%に抑える。
35	介護保険料の現年度収納率	%	99.4	99.5	99.5	99.6	99.6	99.5					99.7	介護保険事業の健全な事業運営の維持・継続、また保険料負担の公平性の確保のため、さらなる収納率の増を目指す。

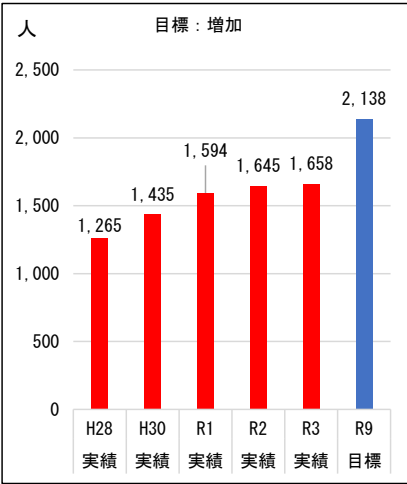
31. 65歳以上の老人クラブ加入者数



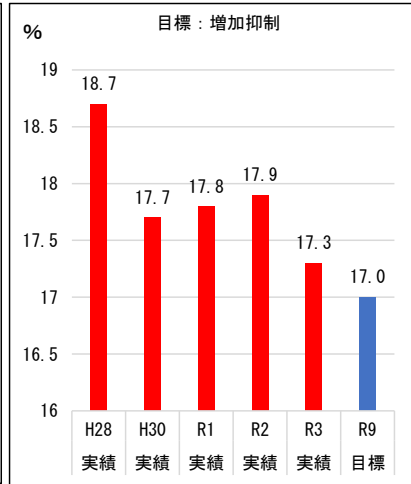
32. 介護予防教室を実施している町内会数



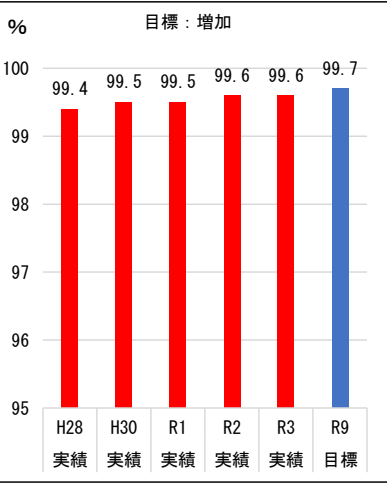
33. 認知症サポーター数



34. 65歳以上の人口に占める要介護認定率



35. 介護保険料の現年度収納率



令和4年3月31日時点での検証・評価

- ・「31. 老人クラブ加入者数」は徐々に減少しています。高齢者が生きがいを持って社会参加ができるよう、クラブ活動等に対するさらなる支援が必要です。
- ・「32. 介護予防教室を実施している町内会数」については、地域住民の主体的な活動を支援することに重点を置き「介護予防教室」事業を終了し、現在は「ご近所ふれあいサロン助成事業」に移行しています。
- ・「33. 認知症サポーター数」（養成講座受講者数）は、微増ではあるが増加傾向にあります。
- ・「34. 65歳以上に占める要介護認定率」は、R3は減少に転じています。今後も介護予防対策を推進する必要があります。
- ・「35. 介護保険料の現年度収納率」は、R4目標値に到達しています。今後も保険料負担の不公平が生じないよう徴収に力を入れる必要があります。

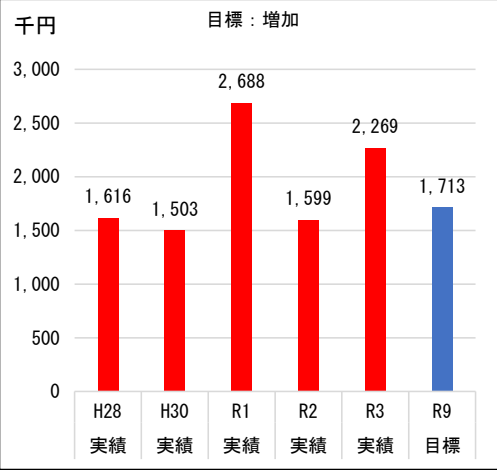
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	2	保健・医療・福祉が充実して安全・安心・快適に暮らせるまち	施策の方針	・障がい者が地域で自立し、安心して暮らせるまちをつくるため、「障がい者計画」「障がい福祉計画」に基づき、障がいのある人が地域で交流できる機会を増やすとともに、県や医療機関、サービス提供事業者などと連携し、障がいのある人などに対する町民意識の啓発を図ります。 ・障がい者が地域内で自立した生活を送るための基盤を整備するとともに、生きがいや社会参加の場となっている就労支援施設などの充実に努めます。また、特別障害者手当等の支給などにより、本人および家族の経済的負担の軽減を図るとともに、就労および経済的自立を目指し総合的に支援します。
政策	5	健康に暮らせる保健・医療・福祉の充実		
施策	12	障がい者福祉の充実		

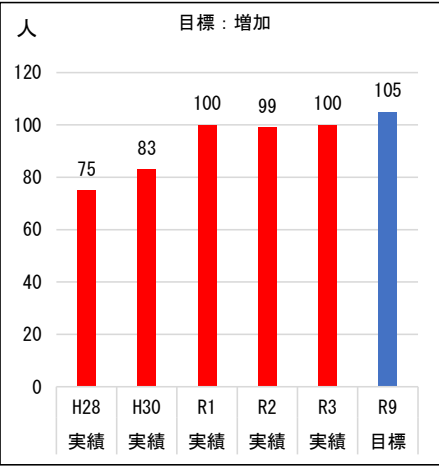
数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R8 目標	R9 目標	数値目標設定の考え方
36	障がい者就労施設等からの物品等の調達	千円	1,616	1,503	2,688	1,599	2,269	1,665					1,713	障がい者就労施設等からの物品等の調達の推進に関する基本方針に基づき、平成28年度実績額の6%増を目指す。
37	就労支援施設利用者数	人	75	83	100	99	100	83					105	就職前から就職後までを段階的に支援する就労支援施設の利用者数について、平成28年度実績の40%増を目指す。

36. 障がい者就労施設等からの物品等の調達



37. 就労支援施設利用者数



令和4年3月31日時点での検証・評価

・「36. 障がい者就労施設等からの物品等の調達」は、目標値付近を推移していますが、今後もこれを継続するよう障がい者就労施設等を支援する必要があります。
・「37. 就労支援施設利用者数」は、順調に推移しています。

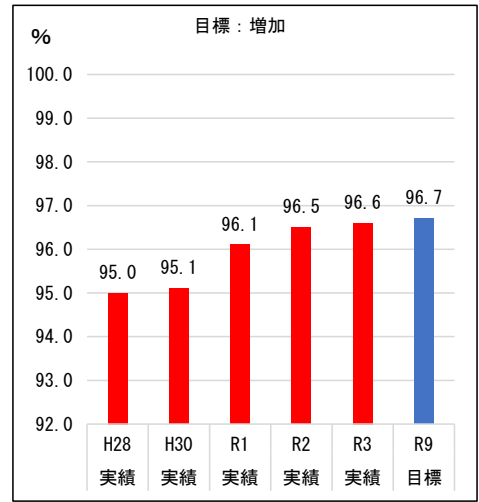
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	2	保健・医療・福祉が充実して安全・安心・快適に暮らせるまち	施策の方針	・最低限度の生活を保障するため、低所得者福祉の適切な運用に努めるとともに、低所得者の経済的な自立と生活意欲の高揚を促すため、相談体制や援助体制の充実に努めます。 ・国民健康保険・後期高齢者医療および国民年金については、制度の正しい認識・理解に向けた周知徹底を図りながら制度の適切な運用に努めるとともに、国民健康保険税・後期高齢者医療保険料の収納率および国民年金保険料の納付率の向上と未納者の解消に努めます。
政策	5	健康に暮らせる保健・医療・福祉の充実		
施策	13	社会保障制度の充実		

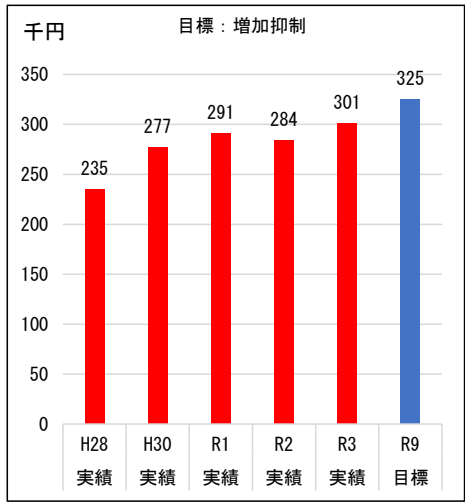
数値目標（ベンチマーク）と実績

項目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R8 目標	R9 目標	数値目標設定の考え方
38	国民健康保険税収納率	%	95.0	95.1	96.1	96.5	96.6	95.2					96.7	国民健康保険の安定運営及び税負担の公平性を確保するため、令和3年度実績の0.1%増を目指す。
39	国民健康保険被保険者1人当たり年間医療費	千円	235	277	291	284	301	279					325	1人当たり医療費は増加傾向にあるが、過去10年間の伸び率と県の目標値より、32万5千円以下への抑制を目指す。

38. 国民健康保険税収納率



39. 国民健康保険被保険者1人当たり年間医療費



令和4年3月31日時点での検証・評価

- ・「38. 国民健康保険税収納率」は、順調に向上し、今後も収納率の維持・向上していくための努力を継続していくものです。
- ・「39. 国民健康保険被保険者1人当たり年間医療費」は、昨年度の実績はR4. 2月に確定するため見込みになりますが、増加する見込みです。健診等の適正受診対策や疾病予防の推進などを通じて医療費を抑制していく必要があります。

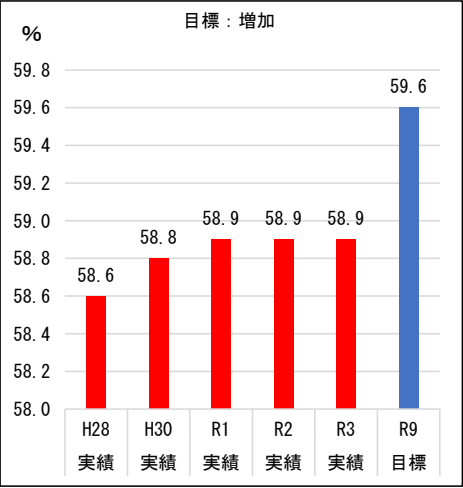
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	2	保健・医療・福祉が充実して安全・安心・快適に暮らせるまち	施策の方針	・国・県道の改良整備や安全対策の充実を、国をはじめとする関係機関に働きかけるとともに、町民の生活道路である町道と主要幹線道路とがスムーズにアクセスできるよう整備します。 ・道路施設の更新・補修を計画的に行い、災害時のライフラインの確保に努めるとともに、除雪作業の効率的な実施に努めます。 ・町民が快適な日常生活を送れるよう、鉄道、民間路線バス、コミュニティバスなどの総合的な交通体系の整備に努めます。
政策	6	便利で暮らしやすい生活基盤の充実		
施策	14	道路・公共交通ネットワークの形成		

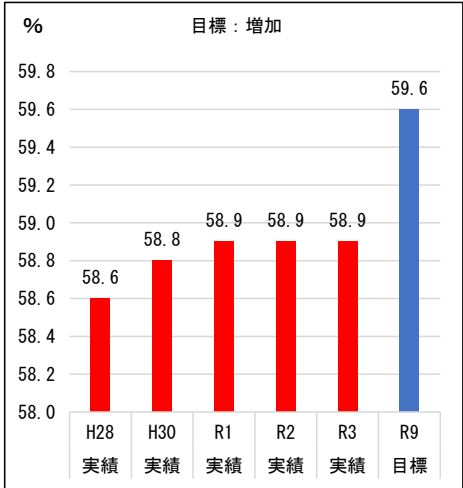
数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R8 目標	R9 目標	数値目標設定の考え方
40	町道改良率	%	58.6	58.8	58.9	58.9	58.9	59.1					59.6	道路構造令に基づく改良済道路の割合について、平成28年度実績の1%増を目指す。
41	町道舗装率	%	58.6	58.8	58.9	58.9	58.9	59.1					59.6	町道の走行性及び耐久性の維持のため、平成28年度実績の1%増を目指す。
42	町道歩道整備率	%	4.0	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1					4.3	歩行者の安全確保のため、平成28年度実績の0.3%増を目指す。

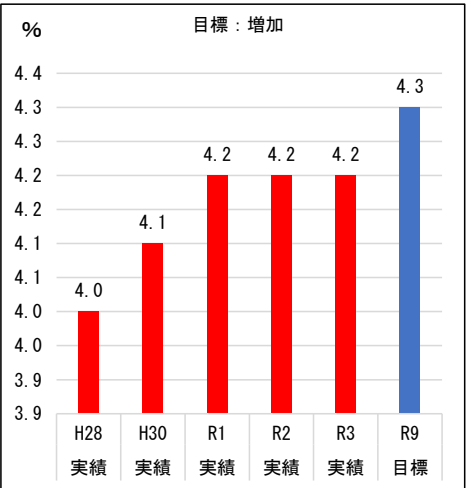
40. 町道改良率



41. 町道舗装率



42. 町道歩道整備率



令和4年3月31日時点での検証・評価

- ・「40. 町道改良率」と「41. 町道舗装率」は、横ばいとなっていますが、事業を進めることにより歩行者や車両にとってより良好な道路空間を提供していく必要があります。
- ・「42. 町道歩道整備率」は、実績値がR4の目標を達成していますが、危険箇所は未だ存在しています。歩行者や自転車走行の安全性を高めるため、今後危険箇所の改良が必要です。

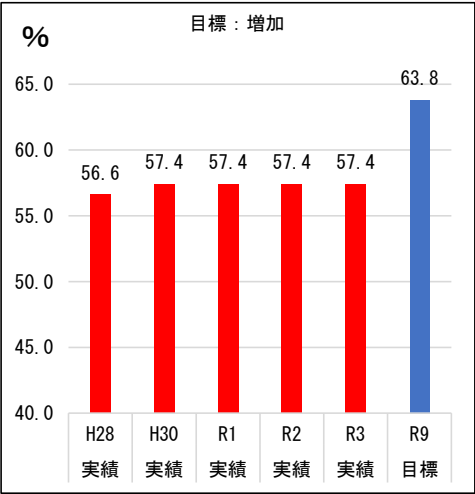
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	2	保健・医療・福祉が充実して安全・安心・快適に暮らせるまち	施策の方針	・移住・定住の促進に向けて、良好な宅地の造成や分譲を推進します。 ・町営住宅については、建替事業、改善事業、維持保全事業などを計画的に推進し、住環境の向上を図ります。
政策	6	便利で暮らしやすい生活基盤の充実		
施策	15	住宅・宅地の供給		

数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R8 目標	R9 目標	数値目標設定の考え方
43	公営住宅のバリアフリー化率	%	56.6	57.4	57.4	57.4	57.4	63.8					63.8	高齢者や障害者の自立した生活の実現のため、住生活基本計画に掲げたバリアフリー化率63.8%を目指す。

43. 公営住宅のバリアフリー化



令和4年3月31日時点での検証・評価

・「43. 公営住宅のバリアフリー化」は、横ばいとなっています。高齢化社会を迎え、町営住宅のさらなるバリアフリー化を進めていく必要があります。
・チェリータウン桜場の宅地分譲は全39区画完売しています。引き続き、良好な宅地分譲地の整備について調査を進めていきます。

第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	2	保健・医療・福祉が充実して安全・安心・快適に暮らせるまち	施策の方針	・多様化する町民ニーズへの対応や町民サービスの充実を図るため、ＩＣＴを活用した行政サービスの効率化や高度化を図るとともに、情報システムや個人情報などを守るため、情報セキュリティ対策を講じます。 ・小学生から高齢者までの町民が等しく利活用できるようなＩＣＴ環境の整備に努めます。
政策	6	便利で暮らしやすい生活基盤の充実		
施策	16	高度情報化への対応		

数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目	単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R8 目標	R9 目標	数値目標設定の考え方
数値目標なし		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

令和4年3月31日時点での検証・評価

・行政におけるDXの推進については、国の主導により自治体情報システムの標準化や共通化、マイナンバーカードの普及促進、さらにはAIやRPAの利用など徐々に進んできていますが、多様化する町民ニーズへの対応や町民サービスの充実を図るためには、業務自体の見直し（業務改革：BPR）を前提としたデジタル技術の活用と各種データを政策立案に活かす、政策のデジタルマーケティングを検討していく必要があります。
--

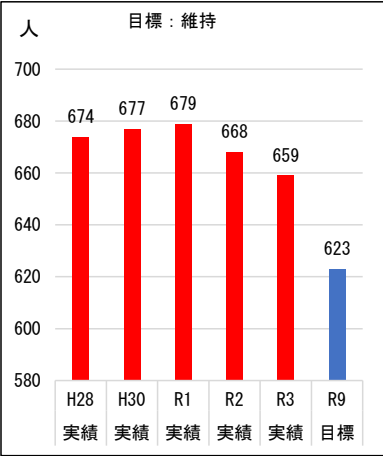
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	2	保健・医療・福祉が充実して安全・安心・快適に暮らせるまち	施策の方針	・「地域防災計画」に基づき、各種災害に対応できる機動力ある組織の確立、消防施設・消防水利施設・消防機械器具などの整備による災害対応能力の向上、常備消防と非常備消防の連携強化による防災力の向上に努めます。 ・防火管理指導の徹底や火災予防活動の推進、水防資機材の整備や警戒・避難・誘導体制の確立、救護施設の充実などによる水害に強いまちづくりを推進するほか、防災システムの整備や防災マップの充実などによる防災体制の確立に努めます。 ・地域での防災意識の高揚、防災力の向上を図るため、地域住民による自主防災組織などの設立促進、町民および関係機関の参加による防災訓練の開催に努めます。
政策	7	安心して暮らせる防災・安全の充実		
施策	17	消防・防災体制の充実		

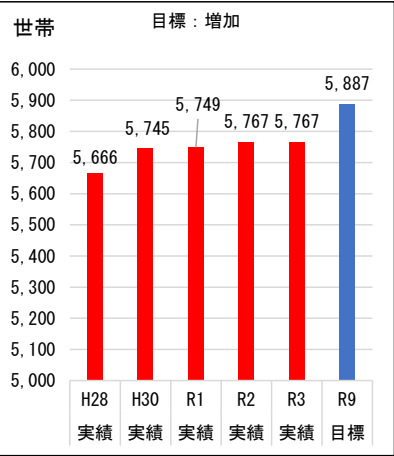
数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R8 目標	R9 目標	数値目標設定の考え方
44	消防団員数	人	674	677	679	668	659	689					623	計画期間内で消防団員（災害支援団員を含む）623人の確保を目指す。
45	住宅用火災警報器設置世帯数	世帯	5,666	5,745	5,749	5,767	5,767	6,352					5,887	火災の早期発見及び早期避難のため、計画期間内で町内全世帯への設置を目指す。
46	火災発生件数	件	12	15	15	12	9	0					0	防火管理指導の徹底や火災予防活動の推進により、火災発生件数0件を目指す。
47	防災訓練参加者数	人	350	410	381	-	205	500					350	町民の防災・減災意識の高揚を図るとともに地域での防災活動に対する理解を含めていただくため、参加者数600人を目指す。
48	自主防災組織の設置数	団体	42	44	45	45	45	49					51	地域の防災力向上を図るため自主防災組織設置数57団体を目指し、また世帯カバー率100%を目指す。

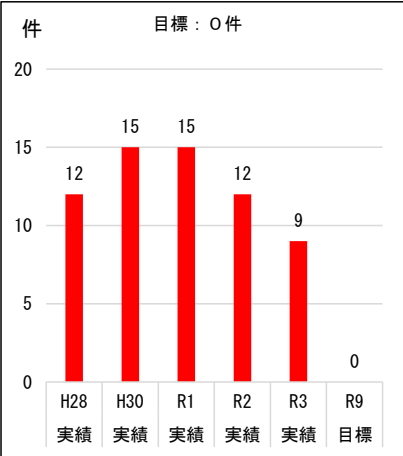
44. 消防団員数



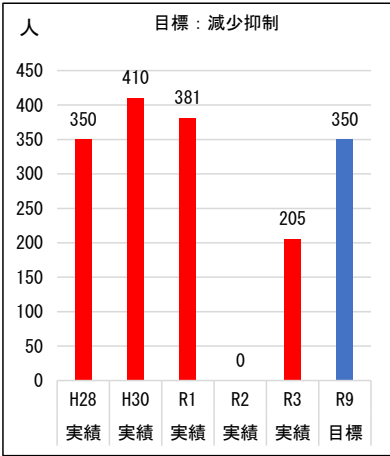
45. 住宅用火災報知器設置世帯数



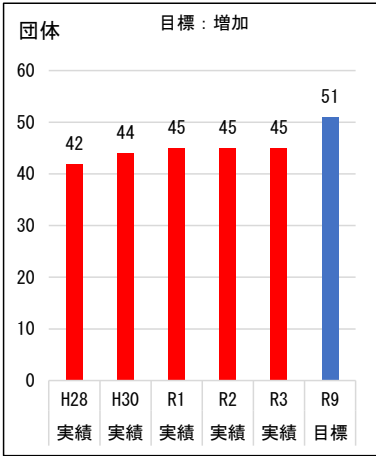
46. 火災発生件数



47. 防災訓練参加者数



48. 自主防災組織の設置数



令和4年3月31日時点での検証・評価

- ・「44. 消防団員数」は、順調に推移していましたが、R2、R3は減少しています。地域のコミュニケーションが希薄化している昨今、報酬や手当の見直しなどの処遇改善や入団希望者の掘り起こしが必要です。
- ・「45. 住宅用火災報知器設置世帯数」は徐々に増加しているものの、目標達成のためには、その必要性についてさらなる啓発が必要です。
- ・「46. 火災発生件数」が横ばいとなっています。農作業に伴う原野火災、薪ストーブに起因する火災が多発していることから、防火管理の指導や火災予防活動について、さらに啓発していく必要があります。
- ・「47. 防災訓練参加者数」は、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小した防災訓練の実施のため、例年より参加人数は減少しています。
- ・「48. 自主防災組織の設置数」は、横ばいとなっています。防災知識の普及啓発のため、町内会等に指導を行っていく必要があります。

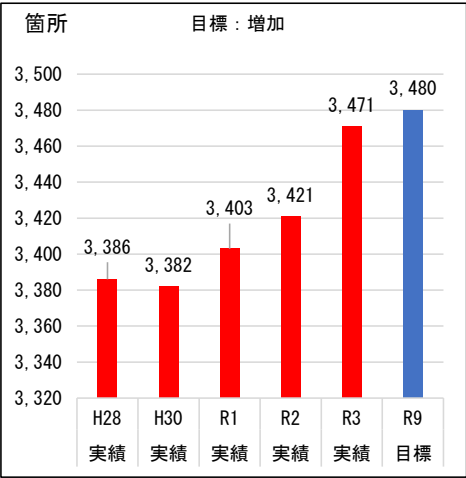
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	2	保健・医療・福祉が充実して安全・安心・快適に暮らせるまち	施策の方針	・安全・安心なまちづくりに向けて防犯環境の整備を推進するとともに、防犯協会をはじめとする防犯関係団体の体制の充実を図り、安全な地域コミュニティづくりに努めます。 ・防犯関係機関・団体などと連携し、各種防犯行事や広報・啓発活動を通じて町民の防犯意識の高揚に努めます。
政策	7	安心して暮らせる防災・安全の充実		
施策	18	防犯対策の充実		

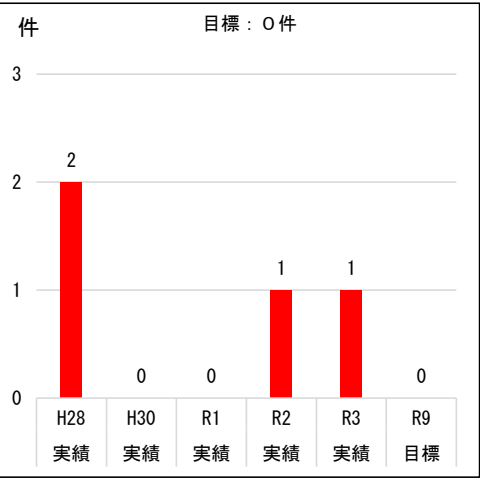
数値目標（ベンチマーク）と実績

項目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R8 目標	R9 目標	数値目標設定の考え方
49	防犯灯・街路灯整備数	箇所	3,386	3,382	3,403	3,421	3,471	3,419					3,480	犯罪防止のための環境整備の一環として計画期間内で防犯灯・街路灯3,480箇所の設置を目指す。
50	農作物被害件数	件	2	0	0	1	1	0					0	三戸警察署や防犯関係団体と連携し、被害件数0件を目指す。

49. 防犯灯・街路灯整備数



50. 農作物被害件数



令和4年3月31日時点での検証・評価

- 「49. 防犯灯・街路灯整備数」は、R4目標値を上回っています。夜間における歩行者の安全確保や犯罪発生防止のため、地域の要望に応じ整備を進めます。
- 「50. 農作物被害件数」は、昨年度は1件発生しましたが、今後も三戸警察署や防犯協会と連携しパトロール活動を継続していく必要があります。

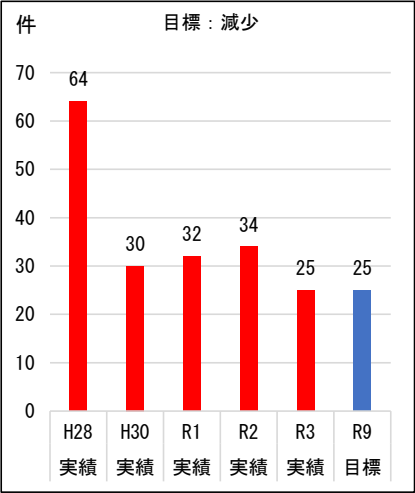
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	2	保健・医療・福祉が充実して安全・安心・快適に暮らせるまち	施策の方針	・交通安全関係機関・団体などと連携し、各種交通安全行事や広報・啓発活動を通じて町民の交通安全意識の高揚に努めるとともに、保育園、幼稚園、小学校、中学校、地域社会での交通安全教育を推進します。 ・交通安全協会をはじめとする交通安全関係団体の体制の充実を図るとともに、交通安全施設などの整備を推進します。
政策	7	安心して暮らせる防災・安全の充実		
施策	19	交通安全の推進		

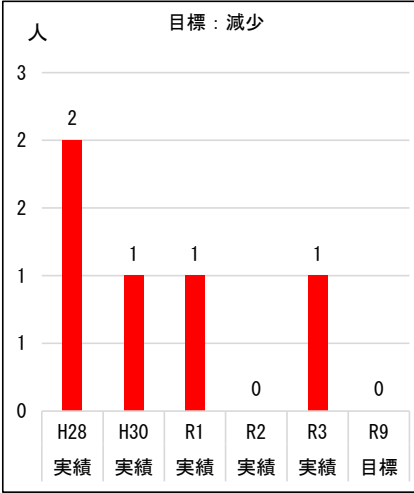
数値目標（ベンチマーク）と実績

項目	単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R8 目標	R9 目標	数値目標設定の考え方
51 交通事故発生件数	件	64	30	32	34	25	46					25	事故防止意識高揚や施設整備を行い、関係団体と連携することで件数の減少を目指す。
52 交通事故死亡者数	人	2	1	1	0	1	0					0	交通死亡事故0を目指す。
53 国道・県道の歩道整備率	%	34.0	33.9	33.9	33.9	33.9	37.0					37.0	歩行者の安全確保のため、国・県への要望活動を強化することで歩道整備率37%を目指す。
54 交通災害共済への加入率	%	60.1	57.3	57.2	56.8	56.5	62.7					56.5	交通事故による被災者救済のため、制度加入を促し加入率56.5%を目指す。

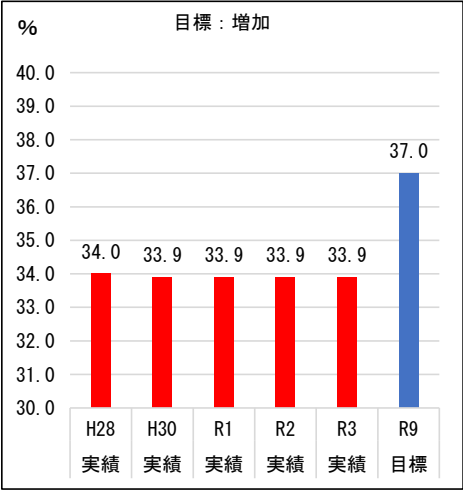
51. 交通事故発生件数



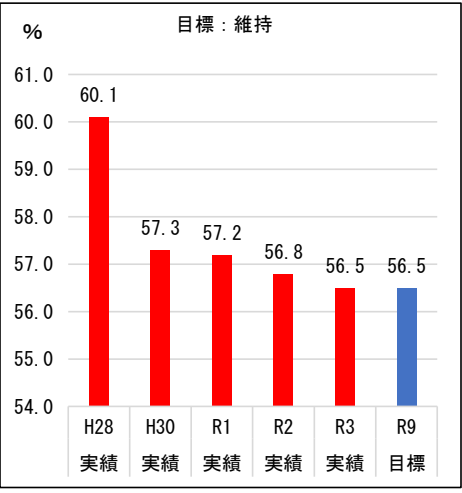
52. 交通事故死亡者数



53. 国道・県道の歩道整備率



54. 交通災害共済への加入率



令和4年3月31日時点での検証・評価

- 「51. 交通事故発生件数」は目標達成水準にありますが、さらなる事故防止意識の高揚や啓発活動が必要です。
- 「52. 交通事故死亡者数」は、昨年度は1人となっています。死者を1人も出さないよう安全運転意識の高揚が必要です。
- 「53. 国道・県道の歩道整備率」は横ばい状態が続いています。目標達成には、国や県に対し要望活動等が必要です。
- 「54. 交通災害共済への加入率」は減少傾向にあります。目標値と乖離があるため、R9の目標値を見直し（65.0→56.5）しました。交通事故被害者救済のため広く周知することが必要です。

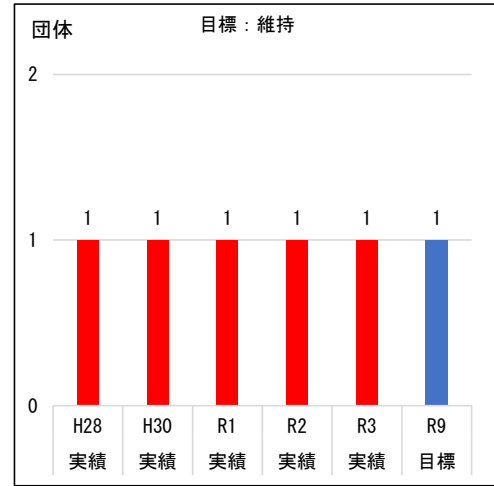
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	3	環境と共生して幸せを実感できるまち	施策の方針	・環境保全を総合的・計画的に推進するため、本町の豊かな自然環境、優れた景観、歴史的資源を次の世代に伝えていくとともに、この資源を体系的にとらえ活用を図ります。 ・また、公共工事の実施に当たっては、自然環境との共生、景観の維持に配慮した資材や工法の導入を推進します。 ・自然環境・景観などの保全活動に対する町民の意識を高揚するため、環境保全・景観形成団体の育成と支援に努めます。
政策	8	豊かでかけがえのない自然環境の形成		
施策	20	自然環境・景観の保全と活用		

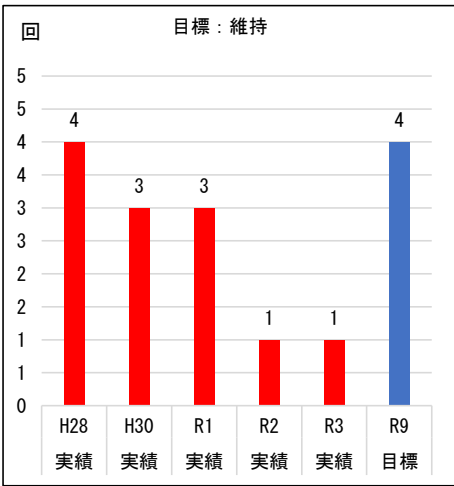
数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 実績	R9 目標	数値目標設定の考え方
55	環境保全・景観形成団体数	団体	1	1	1	1	1	1					1	環境保全団体の活動支援に努め、計画期間内での団体数維持を目指す。
56	環境保全活動の実施回数	回	4	3	3	1	1	4					4	一般企業等の自然保護、環境美化などの環境保全活動を支援することで実施回数4回の維持を目指す。

55. 環境保全・景観形成団体数



56. 環境保全活動の実施回数



令和4年3月31日時点での検証・評価

- ・「55. 環境保全・景観形成団体数」は、維持されています。
- ・「56. 環境保全活動の実施回数」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施することができず減少しています。

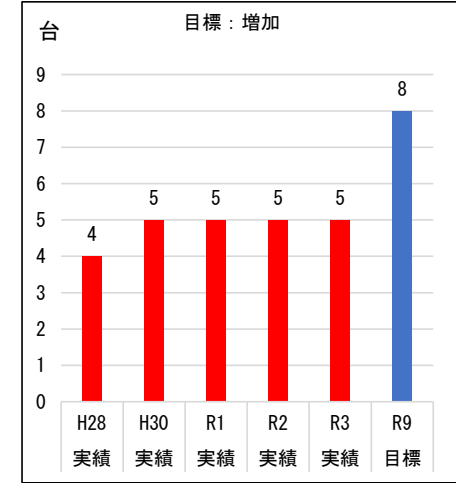
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	3	環境と共生して幸せを実感できるまち	施策の方針	・地球温暖化、異常気象などの環境問題に対応するため、町民、行政および関係機関が連携し、省資源・省エネルギーの啓発活動の推進、新エネルギーの導入促進、様々な機会をとらえたエネルギー教育の推進、河川などの環境監視体制の強化などに努めます。 ・町民をはじめ、小売店、事業所などと行政が協働して、環境にやさしく負荷の少ない循環型社会の構築を目指します。 ・農林業をはじめとするすべての産業において、環境保全に配慮した施策を推進し、快適で潤いのある生活環境の創造を目指します。
政策	8	豊かでかけがえのない自然環境の形成		
施策	21	環境と共生する循環型社会づくり		

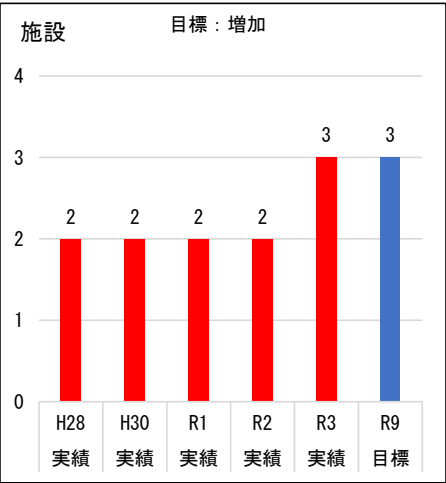
数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 実績	R9 目標	数値目標設定の考え方
57	公用車のうち低公害車の台数	台	4	5	5	5	5	5					8	大気汚染物質の排出が少なく、環境への負荷が少ない低公害車8台の導入を目指す。
58	新エネルギーの導入施設数	施設	2	2	2	2	3	3					3	地球環境にやさしく負荷の少ない循環型社会構築に寄与するため、累計3施設への新エネルギー導入を目指す。

57. 公用車のうち低公害車の台数



58. 新エネルギーの導入施設数



令和4年3月31日時点での検証・評価

・「57. 公用車のうち低公害車の台数」については、R4目標は達成しているものの、今後も省エネ車の導入やエコドライブの励行が必要です。
・「58. 新エネルギーの導入施設数」については、昨年度は新たに新庁舎に太陽光パネルを設置しました。今後は他の町有施設への導入の検討も必要です。

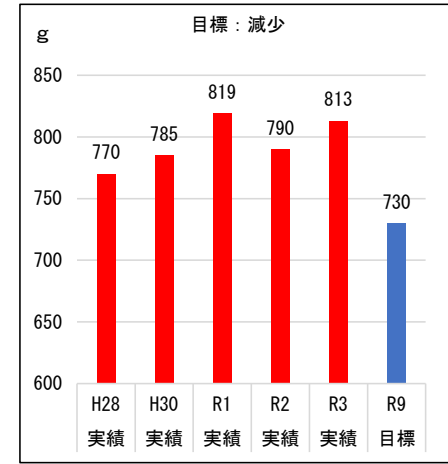
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	3	環境と共生して幸せを実感できるまち	施策 の方 針	・ごみの適正な収集・処理に向け、分別排出の定着化を推進していくとともに、広域的なごみ減量化・リサイクル体制の充実に努めます。 ・環境美化運動を通じて町民の環境保全意識の高揚に努めるとともに、町民の協力を得ながら監視体制の強化を図り、ごみの不法投棄の防止に努めます。 ・広域的なし尿収集・処理体制の充実に努めるほか、広域的連携のもと、火葬場の整備充実と適正管理に努めます。
政策	9	快適で住みやすい生活環境の形成		
施策	22	環境衛生対策の充実		

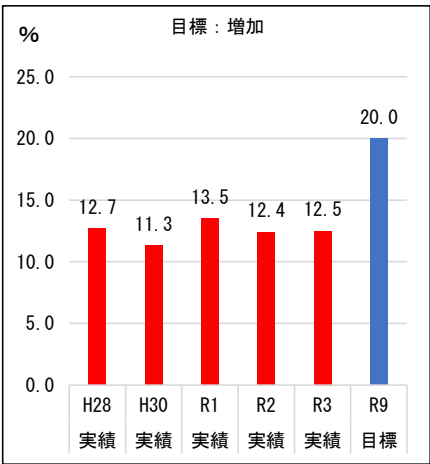
数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 実績	R9 目標	数値目標設定の考え方
59	一人一日あたりのごみ排出量	g	770	785	819	790	813	750					730	ごみの減量化に対する町民の意識高揚を図り、県及び国の平均値を勘案し排出量730kgまでの抑制を目指す。
60	一般廃棄物のリサイクル率	%	12.7	11.3	13.5	12.4	12.5	15.0					20.0	日常生活や事業活動における3R運動を推進し、廃棄物のリサイクル率20%を目指す。

59. 一人あたりの年間ごみ排出量



60. 一般廃棄物のリサイクル率



令和4年3月31日時点での検証・評価

- ・「59. 一人あたりの年間ごみ排出量」は、ほぼ横ばいの水準です。自主的なごみの減量についてのさらなる啓発活動が必要です。
- ・「60. 一般廃棄物のリサイクル率」は、足踏みを続けていますが、目標達成のためには、引き続きリサイクルに関する啓発活動が必要です。

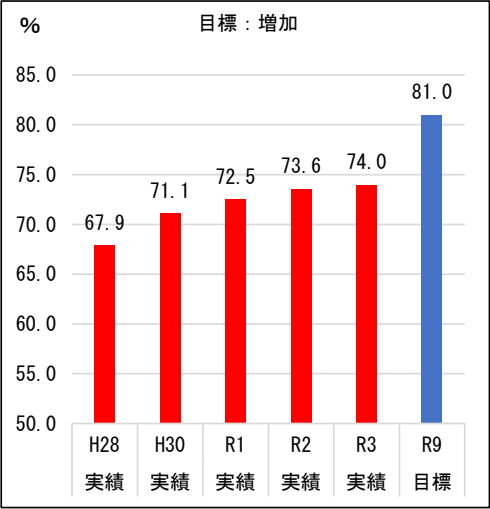
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	3	環境と共生して幸せを実感できるまち	施策の方針	・上水道については、広域的連携のもと、安全で安定した水の供給、安全な水源の確保、水道施設の計画的な整備・充実に努めるとともに、「水は大切な資源」という意識啓発活動を展開し、節水型のまちづくりを推進します。 ・污水处理については、水環境の保全や水の循環利用などの啓発活動の展開に合わせ、公共下水道事業などを活用した計画的な下水道の整備、合併処理浄化槽の設置などによる全町水洗化の実現に努めます。
政策	9	快適で住みやすい生活環境の形成		
施策	23	上水道・下水道の維持		

数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 実績	R9 目標	数値目標設定の考え方
61	污水处理人口普及率	%	67.9	71.1	72.5	73.6	74.0	75.0					81.0	全町水洗化の実現に寄与するため、南部町污水处理施設整備構想に基づき普及率81%を目指す。

61. 污水处理人口普及率



令和4年3月31日時点での検証・評価

・「61. 污水处理人口普及率」は、昨年度は低下していますが、総じて順調に推移しています。今後も下水道の計画的な整備、老朽施設の改修を進めていく必要があります。
--

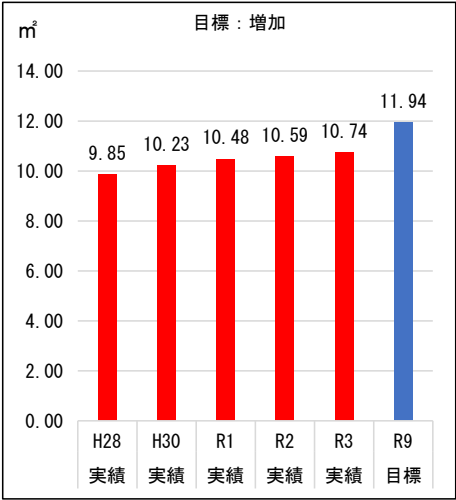
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	3	環境と共生して幸せを実感できるまち	施策の方針 ・公園・緑地・水辺については、町民との協働により、既存施設の適正な維持管理・計画的な整備に努めるとともに、歴史資源を活用した個性あふれる交流空間の創出などに努めます。 ・学校・道路などの公共施設において計画的な植樹・植栽を推進するとともに、町民・事業者の緑化運動・花いっぱい運動を支援します。
政策	9	快適で住みやすい生活環境の形成	
施策	24	公園・緑地の形成	

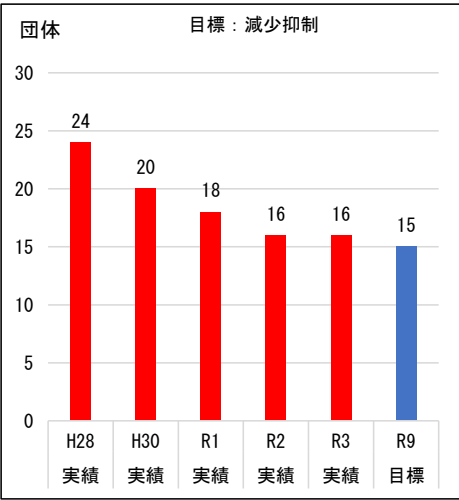
数値目標（ベンチマーク）と実績

項目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 実績	R9 目標	数値目標設定の考え方
62	町民1人当たりの公園面積	m ²	9.85	10.23	10.48	10.59	10.74	10.94					11.94	地域の安らぎ場として子供や高齢者が気軽に利用できる場を整備する必要があるため、1人当たり公園面積11.94m ² を目指す。
63	達者村花壇コンクール参加団体数	団体	24	20	18	16	16	26					15	町民及び事業者主体の景観整備及び緑化運動を推進するため、コンクール参加団体数28団体を目指す。

62. 町民一人当たりの公園面積



63. 達者村花壇コンクール参加件数



令和4年3月31日時点での検証・評価

- ・「62. 町民一人当たりの公園面積」は、施設・設備の維持管理が適正に行われ順調に推移しています。
- ・「63. 達者村花壇コンクール参加件数」は、年々減少しています。目標達成には、町民や事業者への呼びかけを行った上で理解と協力を得、さらに環境整備や緑化運動に取り組んでいく必要があります。なお、ベンチマークの算出方法をR3から見直し、これまでの団体参加数のカウントに、個人参加数を加えて算出しています。

第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	3	環境と共生して幸せを実感できるまち	施策 の方針	・土地利用関連計画の見直しを行いながら、土地利用の総合調整を一体的に推進します。 ・土地利用関連計画や関連法、条例などの周知徹底、これらの計画などに基づいた適正な規制・誘導、無秩序な開発行為の未然防止などに努めるとともに、自然環境と町民生活・生産活動が調和する良好な環境を形成し、適正な土地利用を推進します。 ・有効的な土地利用の推進および公平な課税のため、地籍調査事業の推進のもと、適正な地籍情報の管理を行います。
政策	10	適正な土地利用の推進		
施策	25	計画的な土地利用の推進		

数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目	単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 実績	R9 目標	数値目標設定の考え方
数値目標なし		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

令和4年3月31日時点での検証・評価

・土地利用関連の計画及び関連法に基づき手続きを行うことで、無秩序な開発行為の未然防止につながっています。今後も土地利用関連法等の周知徹底に努める必要があります。
--

第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	3	環境と共生して幸せを実感できるまち	施策の方針	・自然環境を保全しながら、土地利用を推進するため、市街地整備ゾーン、農業・農村交流定住ゾーン、森林保全・活用ゾーン、工業団地ゾーンの4つのゾーンに町域を区分し、適正・合理的な土地利用を推進します。
政策	10	適正な土地利用の推進		
施策	26	まちを形成する骨格の形成		

数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目	単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 実績	R9 目標	数値目標設定の考え方
数値目標なし		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	

令和4年3月31日時点での検証・評価

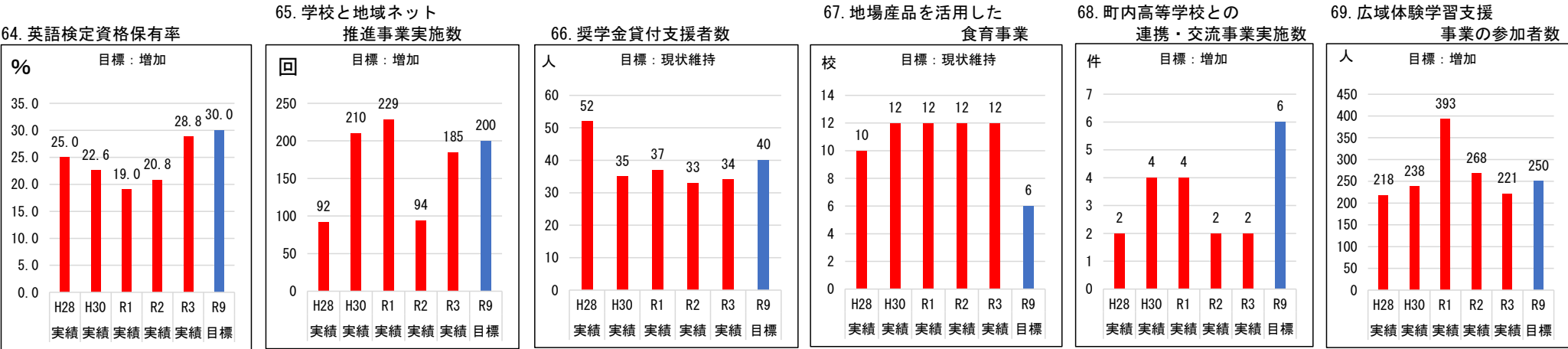
・土地利用等関連計画に基づいた土地利用の推進により、適正な土地利用が図られています。今後も地域の核としての商業活性化や定住化に向けた良好な住宅環境の創出など、一体的に推進するよう検討していく必要があります。

第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	4	明日を担う人を育て一人ひとりの個性を活かすまち	施策の方針	・未来を担う子どもたちの生きる力の育成と、学校・家庭・地域の連携強化による教育力の向上を目指していくため、幼児教育・義務教育・障がい児教育の推進および学習環境の整備を図るとともに、地域の特性・環境を活かした特色ある学校経営に対する支援策の充実に努めます。 ・高等学校との連携・交流の推進に努めるとともに、人材育成・確保のために奨学金制度の充実に努めます。 ・学校給食での地産地消の推進、学校給食を通じた食育の普及・啓発に努めます。 ・少子化に対応した持続的な学校運営を行っていくため、小学校・中学校の統廃合を検討します。
政策	11	未来を担う人づくりの推進		
施策	27	学校教育の充実		

数値目標（ベンチマーク）と実績

項目	単位	H28実績	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	R9目標	数値目標設定の考え方
64 英語検定資格保有率（中3の3級保有率）	%	25.0	22.6	19.0	20.8	28.8	30.0					30.0	英語力の強化によりグローバル社会に対応した人材を育成するため、中3の3級保有率30%を目指す。
65 学校と地域ネット推進事業実施数	回	92	210	229	94	185	120					200	地域の専門家や愛好家による地域ぐるみの教育は非常に学習効果が高いため、これまでの実績を踏まえ年間200回開催を目指す。
66 奨学金貸付支援者数	人	52	35	37	33	34	45					40	勉強意欲のある学生が経済的理由で進学をあきらめないよう、制度の充実に努め、人材育成に努めます。
67 地場産品を活用した食育事業（実施学校数）	校	10	12	12	12	12	12					6	食に関する知識と食を選択する力の習得を目的に、全小学校・中学校での実施を目指す。
68 町内高等学校との連携・交流事業実施数	件	2	4	4	2	2	8					6	名久井農業高校と連携した農業体験学習や環境美化運動等の交流について事業実施数6件を目指す。
69 広域体験学習支援事業の参加者数	人	218	238	393	268	221	250					250	圏内の小学校による圏内の文化・スポーツ等の公共施設を活用した児童対象体験学習について、町町から年間参加者数250人を目指す。



令和4年3月31日時点での検証・評価

- 「64. 英語検定資格保有率」は、R2、R3と続けて増加しています。目標達成のためには、引き続き英語教育の充実や英語力の育成が必要です。
- 「65. 学校と地域ネット推進事業実施数」は、昨年度はコロナ禍においても持ち直し、学校教育活動の場において大いに活用されています。
- 「66. 奨学金貸付支援者数」は概ね現状を維持していますが、今後も制度の充実と学生がいる世帯への呼びかけ及び支援が必要です。
- 「67. 地場産品を活用した食育事業」は現状維持されており、全小中学校で実施されています。
- 「68. 町内高等学校との連携・交流事業実施数」は、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により2校に留まっています。
- 「69. 広域体験学習支援事業の参加者数」は、R2、R3と新型コロナウイルス感染症の影響により減少しています。

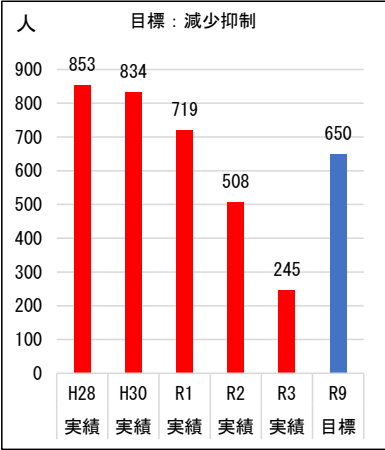
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	4	明日を担う人を育て一人ひとりの個性を活かすまち	施策の方針	・生涯にわたって学べる環境整備のため、生涯学習拠点施設の整備・充実を図り、特色ある生涯学習プログラムの展開を図るとともに、参加者が活動しながらスキルアップできるシステムをつくります。 ・社会の変化に対応しながら、ライフステージに応じて自己の啓発・向上を目指し、生きがいのある人生と豊かで住み良い地域社会を実現する社会教育の推進に努めるとともに、家庭教育の重要性を理解していくための学習環境の整備を図ります。
政策	11	未来を担う人づくりの推進		
施策	28	生涯教育・社会教育の充実		

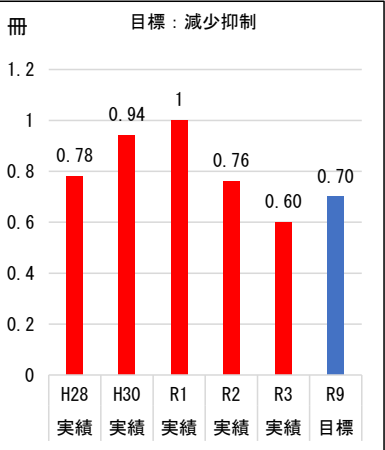
数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 実績	R9 目標	数値目標設定の考え方
70	公民館講座受講者数	人	853	834	719	508	245	810					650	町民が生きがいを持った生活を送ることができるよう、社会情勢やニーズに対応した講座を開設し受講者の減少抑制を目指す。
71	人口1人当たり図書貸出冊数(町民図書室分)	冊	0.78	0.94	1.00	0.76	0.60	0.74					0.70	より一層の図書の整備やPRに努め減少抑制を目指す。
72	町民図書室の蔵書数	冊	27,962	29,249	29,371	30,189	30,925	30,000					32,500	暮らしの中の図書館として、また町民の創造と発展を支える地域の情報拠点として蔵書数32,500冊を目指す。
73	青少年体験学習受講者数	人	79	48	49	11	0	60					50	地域人材を活用した生活体験、交流を通じた子供の豊かな人間性を育むための教育活動を推進し、受講者数の減少抑制を目指す。
74	子ども会ジュニアリーダー登録者数	人	33	30	31	34	35	32					35	子どもの体験学習を通じた健全育成のため、中高生のジュニアリーダー育成を推進し登録者数の減少抑制を目指す。

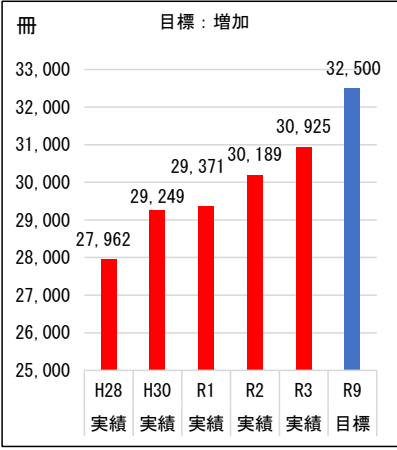
70. 公民館講座受講者数



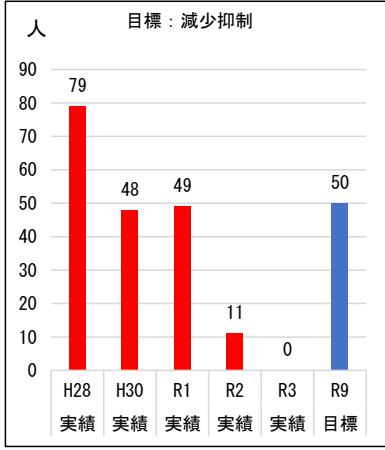
71. 人口1人当たり図書貸出冊数



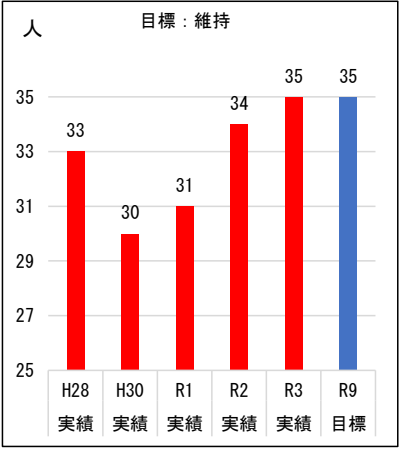
72. 町民図書室の蔵書数



73. 青少年体験学習受講者数



74. 子ども会ジュニアリーダー登録者数



令和4年3月31日時点での検証・評価

- ・「70. 公民館講座受講者数」は、R2、3は新型コロナウイルスの影響により減少していますが、「趣味の教室」、「公民館講座」を開設しています。
- ・「71. 人口1人当たりの図書貸出冊数」は、R2、R3ともに新型コロナウイルス感染拡大の影響による一時閉館などにより減少しています。
- ・「72. 町民図書室の蔵書数」は、順調に推移しておりR4目標を上回っています。
- ・「73. 青少年体験学習受講者数」は、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により体験教室はすべて中止しています。
- ・「74. 子ども会ジュニアリーダー登録者数」は、ここ数年は増加傾向にあります。地域の将来を創造していく若者の育成は、今後さらに重要になっていきますので登録者を減少させないよう努力する必要があります。

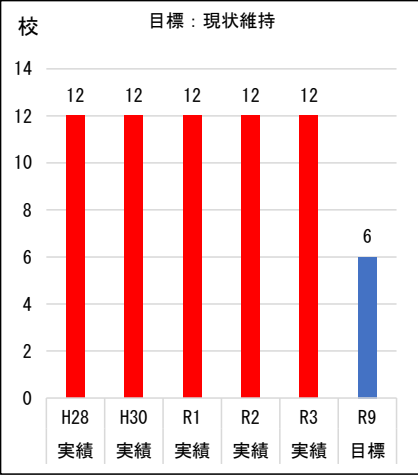
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	4	明日を担う人を育て一人ひとりの個性を活かすまち	・日常的にスポーツを行い、誰もが気軽に親しむことのできる生涯スポーツの実現のため、体育協会をはじめとするスポーツ団体の活動支援、スポーツ教室やスポーツ大会の充実を図ります。
政策	11	未来を担う人づくりの推進	
施策	29	生涯スポーツの振興	

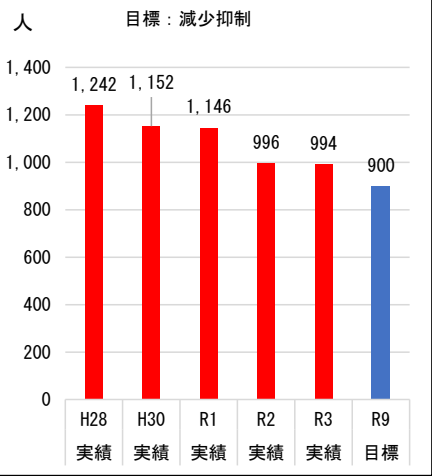
数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 実績	R9 目標	数値目標設定の考え方
75	学校施設開放校数	校	12	12	12	12	12	12					6	地域住民のスポーツ活動や町主催行事の場として、小中学校全校の施設開放を維持継続する。
76	体育協会加入者数	人	1,242	1,152	1,146	996	994	1,150					900	スポーツや運動機会の提供及び普及啓発のため、体育協会加入者数の減少抑制を目指す。
77	スポーツ教室・大会等参加者数	人	4,259	3,827	5,662	420	461	3,930					3,590	地域ぐるみでスポーツに親しむ機会及び環境づくりを推進し、参加者数の減少抑制を目指す。

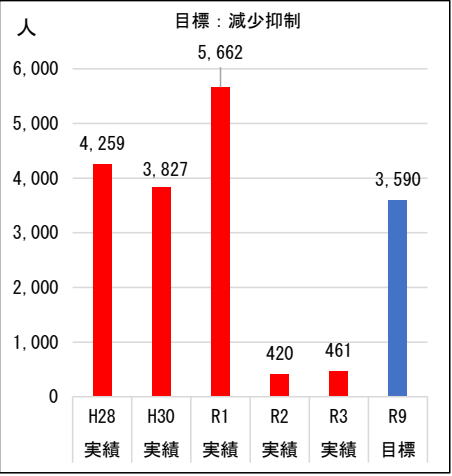
75. 学校施設開放校数



76. 体育協会加入者数



77. スポーツ教室・大会等参加者数



令和4年3月31日時点での検証・評価

- 「75. 学校施設開放校数」は、現状維持されています。（令和5年度から小中学校の統廃合により6校に減）
- 「76. 体育協会加入者数」は、昨年度からほぼ横ばいです。今後もスポーツの推進や健康づくりにつなげるため減少抑制に取り組む必要があります。
- 「77. スポーツ教室・大会等参加者数」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、その多くを中止したためR2に続き、平年比では大幅に減少していますが、感染症対策を講じた事業実施により昨年度比で増加しています。

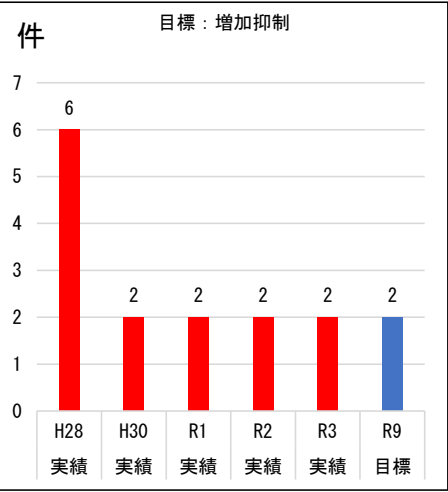
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	4	明日を担う人を育て一人ひとりの個性を活かすまち	施策の方針	・青少年健全育成推進のため、学校・地域・家庭の連携強化、子育てや家庭教育の学習機会充実、地域の教育機能向上、非行防止・環境浄化活動を展開します。 ・青少年団体の育成・支援、青少年の自立性・社会性を培うための地域活動などへの参画促進の充実を図ります。
政策	11	未来を担う人づくりの推進		
施策	30	青少年健全育成の推進		

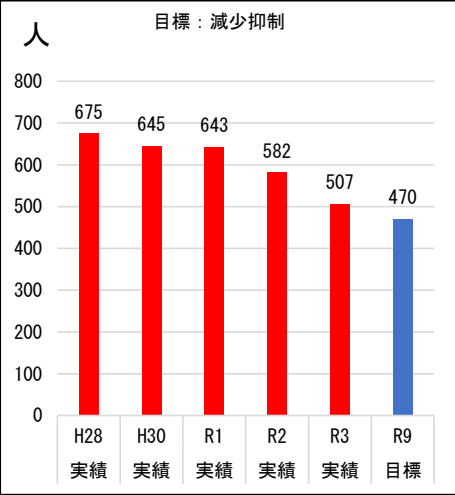
数値目標（ベンチマーク）と実績

項目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 実績	R9 目標	数値目標設定の考え方
78	家庭教育に関する相談の利用件数	件	6	2	2	2	2	6					2	子供の成長過程で起こる様々な教育上の問題に関する相談受付件数について、増加の抑制に努める。
79	青少年団体への加入者数	人	675	645	643	582	507	650					470	青少年が地域の人々との交流を通じて、自立性や社会性を身に付けていけるよう加入者の減少抑制を目指す。

78. 家庭教育に関する相談の利用件数



79. 青少年団体への加入者数



令和4年3月31日時点での検証・評価

・「78. 家庭教育に関する相談の利用件数」は、低水準で推移しています。
・「79. 青少年団体への加入者数」は、児童数が減少し、子ども会を組織できない町内が出てきているため減少しています。ジュニアリーダー研修会の意義の啓発、また地域で活躍できる人材の育成に努める必要があります。

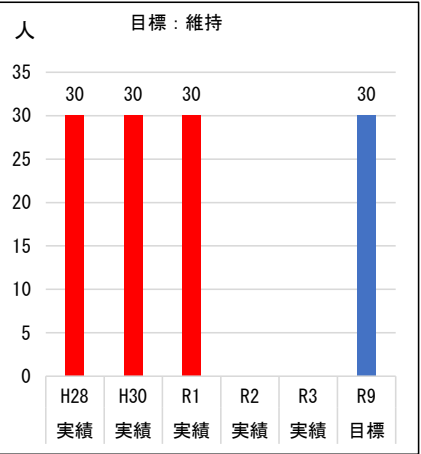
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	4	明日を担う人を育て一人ひとりの個性を活かすまち	施策の方針	・小学生国内交流や中学生海外派遣交流については、内容を一部見直ししながら国内外の地域との交流を継続していくとともに、多様な価値観の形成と広い視野を持つ人間形成や国際感覚に満ちた人材育成に努めます。 ・南部藩発祥の地という特性を活かして、南部氏ゆかりの市町と交流することで町への愛郷心を育むとともに、案内板や道路標識、観光パンフレットの外国語併記など推進し、国際化に対応したまちづくりを推進します。
政策	11	未来を担う人づくりの推進		
施策	31	幅広い視野をもつ人材の育成		

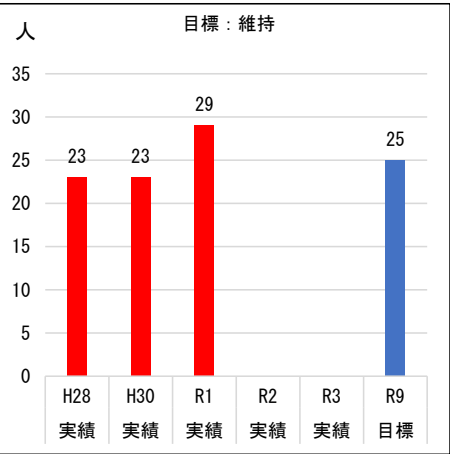
数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 実績	R9 目標	数値目標設定の考え方
80	小学生国内交流事業参加者数	人	30	30	30	—	—	30					30	全国の南部氏ゆかりの自治体との交流を通じ、多様な価値観の形成や人材育成を推進するため、参加者数の現状維持を目指す。
81	中学生海外派遣交流事業参加者数	人	23	23	29	—	—	30					25	海外の文化に触れるとともに広い視野と豊かな国際感覚を身に付けた人材育成のため、参加者数の現状維持を目指す。

80. 小学生国内交流事業参加者数



81. 中学生海外派遣交流事業参加者数



令和4年3月31日時点での検証・評価

・いずれもR2、R3は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止しています。

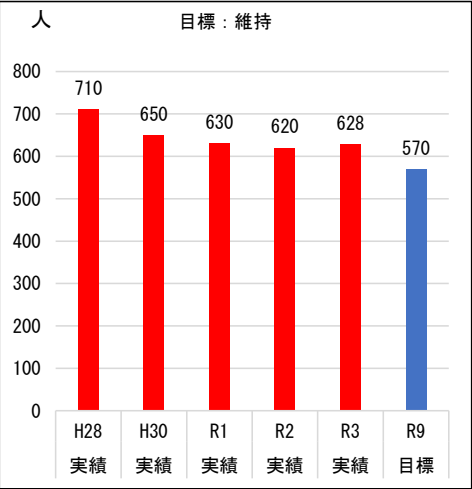
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	4	明日を担う人を育て一人ひとりの個性を活かすまち	施策の方針	・芸術・文化団体の育成や支援、各種学習機会の提供などにより、町民の自発的な活動を促進するとともに、優れた芸術・文化活動の鑑賞機会の拡充と発表機会の充実に努めます。
政策	12	貴重な地域文化の継承と新たな文化の創造		
施策	32	芸術・文化の振興		

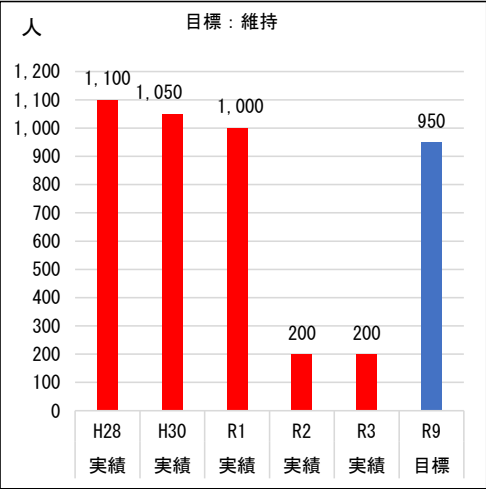
数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 実績	R9 目標	数値目標設定の考え方
82	文化団体(文化協会を含む)加入者数	人	710	650	630	620	628	600					570	心の豊かさと安らぎのある町をつくるため、文化団体の育成及び支援に努め加入者の現状維持を目指す。
83	芸術・文化鑑賞会および発表会参加者数	人	1,100	1,050	1,000	200	200	1,000					950	芸術や文化の鑑賞機会の充実に努めるとともに町民の関心と意識の高揚に努め、参加者数の減少抑制を目指す。

82. 文化団体加入者数



83. 芸術・文化鑑賞および発表会参加者数



令和4年3月31日時点での検証・評価

- 「82. 文化団体加入者数」は、減少傾向にあります。町の芸術、文化の発展のため講座等を開催し、加入者の掘り起こしに努める必要があります。
- 「83. 芸術・文化鑑賞および発表会参加者数」は、R2、3は新型コロナウイルス感染拡大の影響により発表会の中止が相次いだため減少しています。

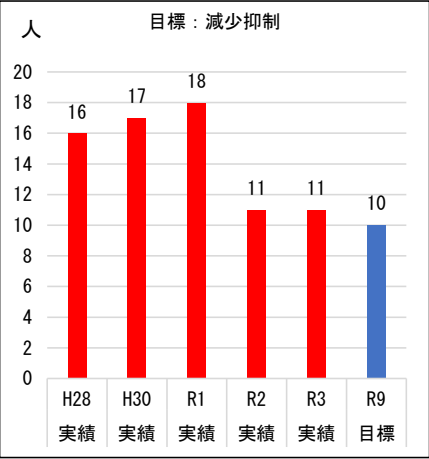
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	4	明日を担う人を育て一人ひとりの個性を活かすまち	施策の方針	・南部藩発祥の地といわれる本町には、貴重な文化財や郷土芸能が数多く遺されているため、文化財の調査、保護および活用、郷土芸能の保存および継承に努めます。 ・学校教育と連携して地域の歴史および文化の学習機会の拡充により郷土愛の醸成を図るとともに、出土品や郷土資料等の展示収蔵施設の整備や案内板などの充実に努めます。
政策	12	貴重な地域文化の継承と新たな文化の創造		
施策	33	歴史・文化遺産の保存と伝承		

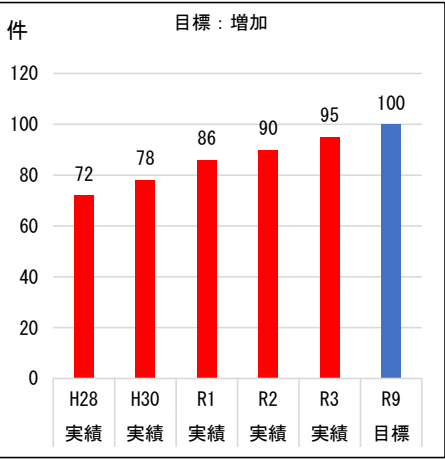
数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 実績	R9 目標	数値目標設定の考え方
84	郷土芸能後継者育成事業参加者数	人	16	17	18	11	11	14					10	郷土に根差して継承されてきた芸能を保護し、後世に引き継ぐため参加者数の減少抑制を目指す。
85	国・県・町指定文化財件数	件	72	78	86	90	95	80					100	地域に残る貴重な文化財の調査に努め、毎年度1～2件の町文化財指定を目指す。

84. 郷土芸能後継者育成事業参加者数



85. 国・県・町指定文化財件数



令和4年3月31日時点での検証・評価

・「郷土芸能後継者育成事業参加者数」は、前年度（R2）比で横ばいとなっています。目標達成には小中学生だけでなく対象者を拡大していく必要があります。
・「国・県・町指定文化財件数」は、順調に推移しています。今後も伝統芸能や町の文化財を後世に引き継ぐため、それらを重んじる心を育んでいく必要があります。

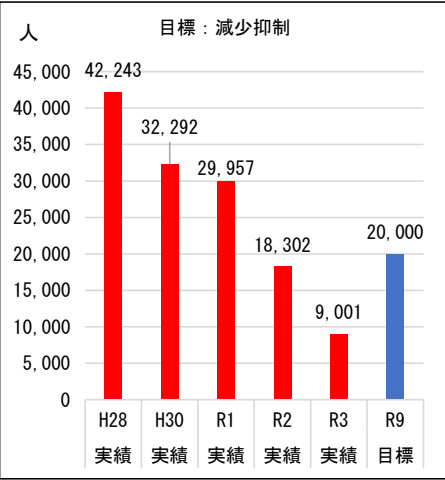
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	5	協働と参画により町民が主役になるまち	施策の方針 ・町民の自主的なまちづくりを促進するため、コミュニティ施設の整備および充実に努めるとともに、コミュニティリーダーの育成を図ります。 ・地域担当職員制度により、行政と地域の連携を密にし、協働によるまちづくりの確立を図ります。
政策	13	地域を活性化するコミュニティ活動の推進	
施策	34	地域を活性化するコミュニティ活動の推進	

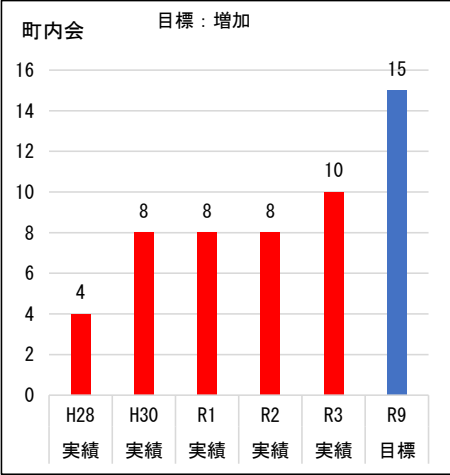
数値目標（ベンチマーク）と実績

項目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 実績	R9 目標	数値目標設定の考え方
86	コミュニティ施設の年間利用者数	人	42,243	32,292	29,957	18,302	9,001	40,000					20,000	集会施設、公共施設をコミュニティの活動拠点として活用を促進し、利用者数の減少抑制に努める。
87	地域づくり計画を策定している町内会数	町内会	4	8	8	8	10	10					15	町内会固有の地域課題などを解決するため、15町内会の自主的な計画策定を目指す。
88	笑顔あふれるまちづくり支援事業の実施団体数	団体/年	16	14	12	12	8	15					15	地域住民が主体的に取り組むまちづくりのための活動を支援するため、助成団体年間15件程度の維持を目指す。

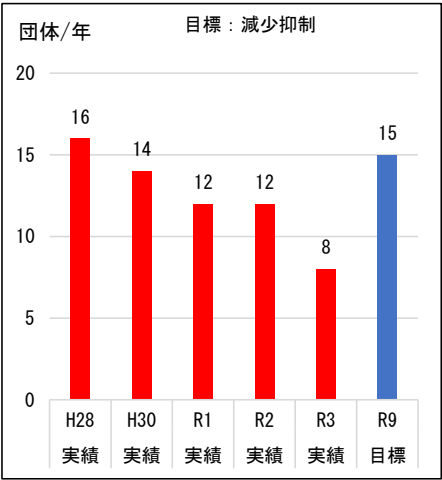
86. コミュニティ施設の年間利用者数



87. 地域づくり計画を策定している町内会数



88. 笑顔あふれるまちづくり支援事業の実施団体数



令和4年3月31日時点での検証・評価

- 「86. コミュニティ施設の年間利用者数」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により一時公民施設を休館したことなどにより減少しています。
 - 「87. 地域づくり計画を策定している町内会数」は、昨年度は増加しています。地域づくり計画を策定した場合のインセンティブのPRや策定支援が必要です。
 - 「88. 笑顔あふれるまちづくり支援事業の実施団体数」は、減少傾向となっています。制度の要綱改正等を含めた活動しやすい制度の運営とメリットのPRが必要です。
- ※「88. 笑顔あふれるまちづくり支援事業の実施団体数」は、まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標と統一し、次年度より実施団体数の累計値をベンチマークとします。

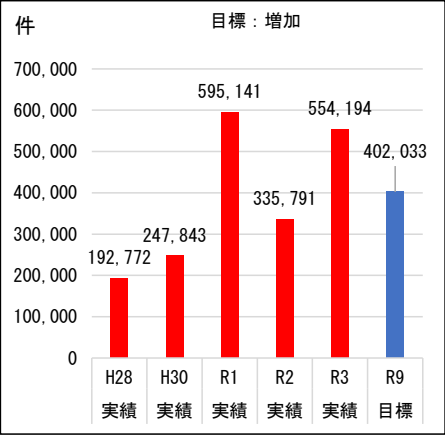
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	5	協働と参画により町民が主役になるまち	施策 の方 針	・町民一人ひとりが生き生きとし、笑顔に満ちあふれたまちをつくっていくため、地域の伝統や特性などを活かした取組を支援します。 ・広聴および広報活動の充実を図るとともに、町職員が地域に出向いて実施する「まちづくり出前講座」を検討します。 ・各種行政計画の策定、公共施設の整備および運営、公共サービスへの町民や民間の参画を促進します。
政策	14	協働と参画によるまちづくりの推進		
施策	35	協働と参画によるまちづくりの推進		

数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 実績	R9 目標	数値目標設定の考え方
89	ホームページのアクセス数	件	192, 772	247, 843	595, 141	335, 791	554, 194	200, 000					402, 033	ホームページの情報の充実によりアクセス数40万件以上を目指す。

89. ホームページアクセス数



令和4年3月31日時点での検証・評価

・「ホームページアクセス数」は、増加傾向にあります。今後さらなる増加が予想されるため、発信力や見やすさ等を追求していくことが重要です。 ※大雨時に河川監視カメラのアクセス数が急増し、アクセス数の総数に占めるその割合が大きいため、次年度よりベンチマークから除外します。
--

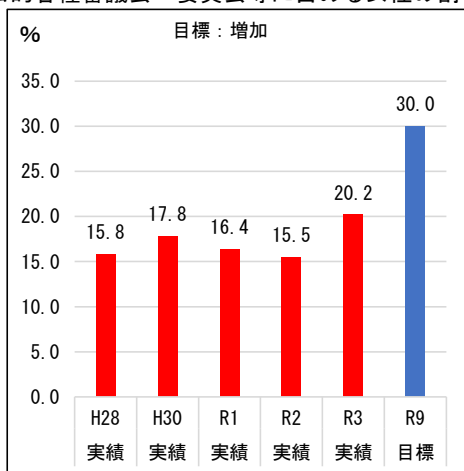
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	5	協働と参画により町民が主役になるまち	施策の方針	・男性と女性が、社会の対等な構成員として参画・活動していくための指針となる「男女共同参画社会基本計画」に基づき、女性の社会参画を促進していくとともに、学校教育や生涯学習活動などを通じて男女共同参画意識の啓発および研修を推進します。 ・女性の意見をまちづくりに反映していくため、公的各種審議会・委員会などへの女性の登用を推進します。
政策	15	男女共同参画社会と人権尊重社会の構築		
施策	36	男女共同参画社会の構築		

数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 実績	R9 目標	数値目標設定の考え方
90	公的各種審議会・委員会等に占める女性の割合	%	15.8	17.8	16.4	15.5	20.2	25.0					30.0	まちづくりに女性の意見を反映することなどを目的とし、各種審議会や委員会に占める女性の割合30%を目指す。

90. 公的各種審議会・委員会等に占める女性の割合



令和4年3月31日時点での検証・評価

・実績値は、横ばいとなっています。目標達成には、各種審議会や委員会へのさらなる女性登用が必要です。

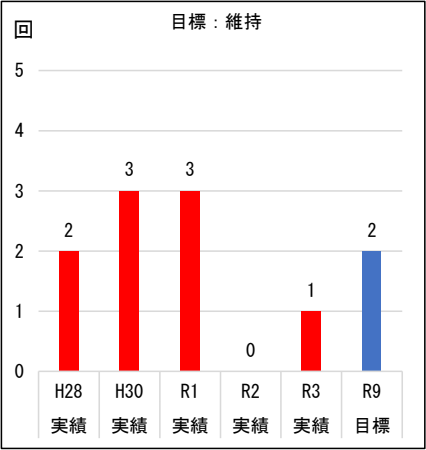
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	5	協働と参画により町民が主役になるまち	施策の方針	・町民一人ひとりが、あらゆる人権問題に対して正しい理解と認識を深められるよう、関係機関と連携を取りながら人権尊重意識の普及・啓発活動の推進に努めるとともに、法を尊重する意識の定着、法令の周知徹底に努めます。 ・家庭・学校・職場などで人権尊重の理念についての理解を促し、不当な差別や虐待など他人の人権を侵害する行為の防止に努めます。
政策	15	男女共同参画社会と人権尊重社会の構築		
施策	37	人権尊重社会の構築		

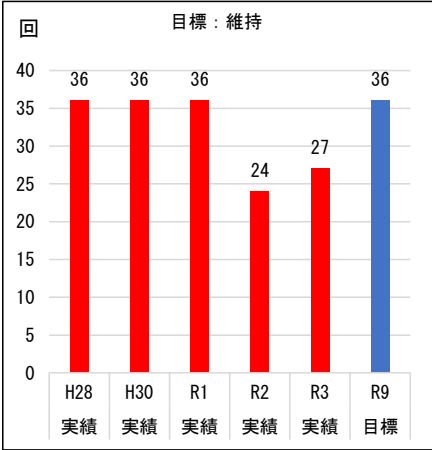
数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 実績	R9 目標	数値目標設定の考え方
91	人権尊重啓発事業の開催回数	回	2	3	3	-	1	2					2	人権が尊重される社会を目指し、「法の日」及び「法の日週間」に合わせて啓発事業2回の実施を目指す。
92	人権に関する相談窓口の開催数	回	36	36	36	24	27	36					36	年間を通して実施している人権相談の実施回数について現状維持を目指す。

91. 人権尊重啓発事業の開催回数



92. 人権に関する相談窓口の開催数



令和4年3月31日時点での検証・評価

・「人権尊重啓発事業の開催回数」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動も制限がありながら、啓発物品を配布し、啓発活動を実施しました。
・「人権に関する相談窓口の開催数」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、R3. 9月、R4. 2・3月は人権相談所事業を中止したことで平年数値を下回っています。

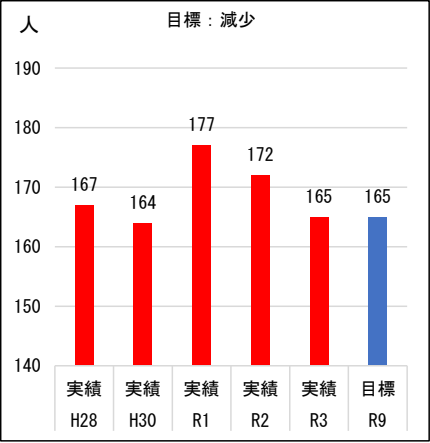
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	6	計画的・効率的な行財政運営を目指すまち	施策の方針	・ 町民のニーズに的確に答えていくため、役場機能の集約化や組織・機構の見直し、アウトソーシングの展開による行政のスリム化、簡素で小さな行政など、行政改革を一層推進し、計画的・効率的で自立した行政運営に努めます。 ・ 町民参画・町民協働のもとにまちづくりの推進方策、行政のあり方などについて常に点検・評価を加えながら、行政改革を推進します。 ・ 個人情報の保護に留意しながら情報公開に努め、町民と行政の情報共有体制をつくります。
政策	16	効率的な行財政運営と広域行政の推進		
施策	38	行政改革の推進		

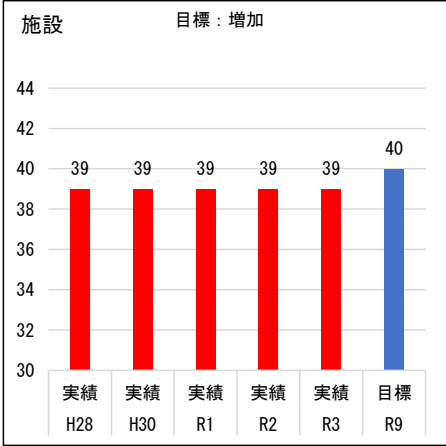
数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 実績	R9 目標	数値目標設定の考え方
93	普通会計職員数	人	167	164	177	172	166	165					165	事務事業の見直しなどにより適正な定員管理を行い、普通会計職員数について165人までの減少を目指す。
94	指定管理者制度導入施設数	施設	39	39	39	39	39	40					40	民間ノウハウを活用し利用者のニーズにきめ細かに対応するため40施設の指定管理者制度導入を目指す。
95	行政改革の効果額	千円	563,246	580,264	532,643	488,714	407,674	580,143					619,570	給与水準及び人事評価の適正化、また事務事業の見直しによる定員の適正化により、人件費効果額619,570千円を目指す。

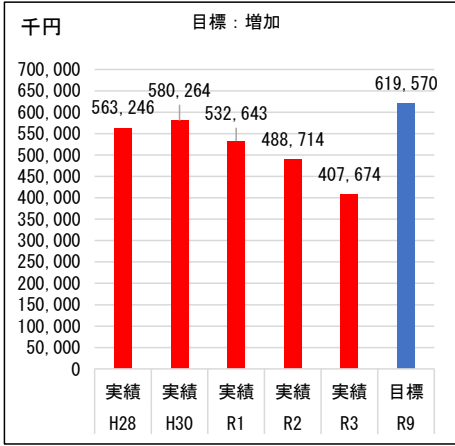
93. 普通会計職員数



94. 指定管理者制度導入施設数



95. 行政改革の効果額



令和4年3月31日時点での検証・評価

・「93. 普通会計職員数」は、R2、R3ともに減少しているものの、R2より会計年度任用職員制度が導入されたことにより、人件費への算入額が増加し、「95. 行政改革の効果額」は減少しています。このように「95. 行政改革の効果額」は、普通会計職員数の削減等の行政改革が進んだとしても、外的要因による影響が大きい指標であるため、次年度よりベンチマークから除外します。

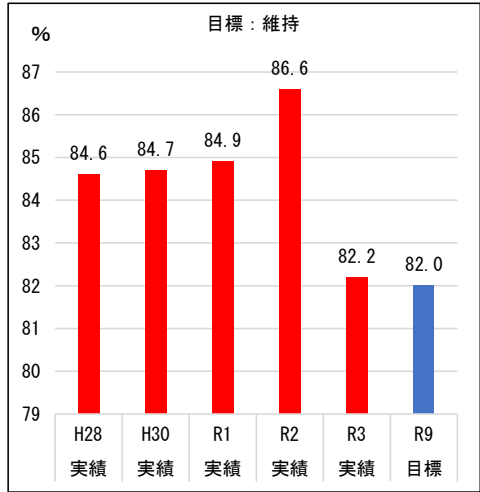
第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	6	計画的・効率的な行財政運営を目指すまち	施策の方針	・限りある財源を計画的・効率的に運営していくため、町税の適正な賦課・徴収、各種行政サービスの適正有償化などによる自主財源の確保、公債費負担の健全化を推進するとともに、重要度および優先度、事業効果などを考慮した財政基盤づくりに取り組みます。
政策	16	効率的な行財政運営と広域行政の推進		
施策	39	財政運営の健全化		

数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目		単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 実績	R9 目標	数値目標設定の考え方
96	経常収支比率(普通会計)	%	84.6	84.7	84.9	86.6	82.2	83.6					82.0	事業の見直しや効率化を図ることで必要経費の節減を図るなど、より自由度の高い財政構造となるよう82.0%を目指す。
97	実質公債費比率(普通会計)	%	9.7	8.2	7.8	7.5	7.4	6.8					9.7	新庁舎建設による地方債の返済開始が予想されるため、平成28年度実績値と同率を目指す。
98	地方債残高	百万円	12,493	11,391	11,093	13,374	12,930	12,566					8,500	平成28年度実績値の30%減を目指す。
99	町税(普通税)の収納率	%	98.8	98.9	99.3	99.1	99.1	99.0					99.2	町が様々な施策を進める上で大切な財源となることから、平成28年度実績値の0.4%増を目指す。
100	町単独補助金の件数	件	99	93	93	83	81	99					99	補助金交付に対する効果及び交付額などの検討・検証を行いながら、年間99件の現状維持を目指す。
101	町有財産売却件数(累計)	件	6	10	13	13	15	9					18	将来に向けて使用予定のない町有地の処分について、年間18件を目指す。

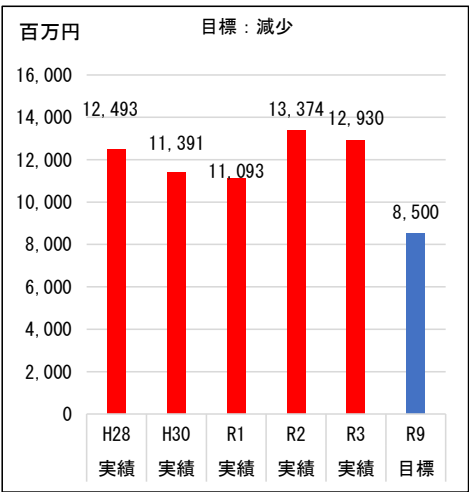
96. 経常収支比率



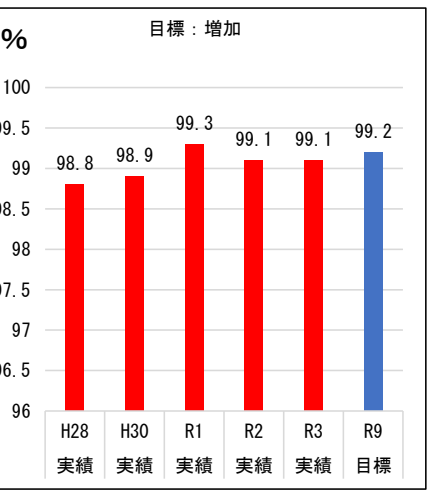
97. 実質公債費比率



98. 地方債残高



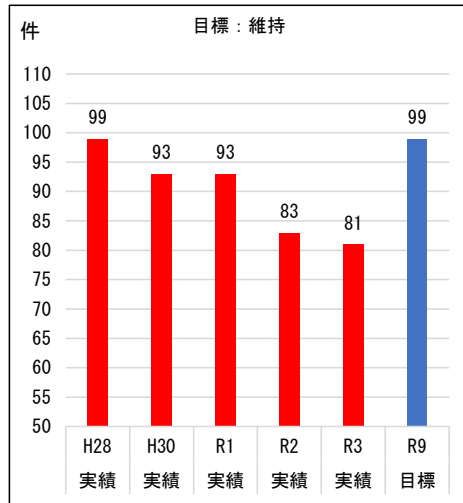
99. 町税の収納率



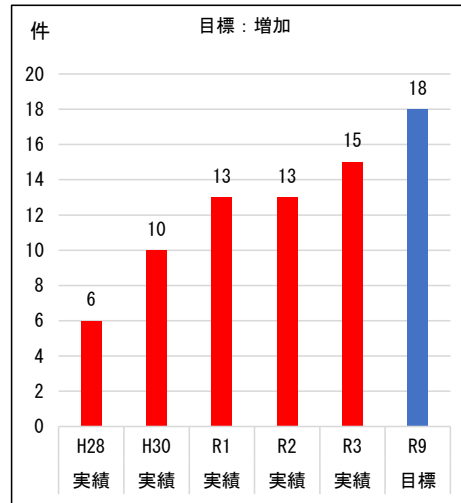
続きは、次ページへ⇒

続き

100. 町単独補助金の件数



101. 町有財産売却件数



令和4年3月31日時点での検証・評価

- ・「96. 経常収支比率」は、償却資産に係る収入の増加等により低くなっています。目標達成に向けて、引き続き、事業の見直しや効率化を図り改善していく必要があります。
- ・「97. 実質公債費比率」は、減少しています。財政構造の硬直化を防ぐため義務的な経費の抑制により町債残高を軽減していく必要があります。
- ・「98. 地方債残高」は、R2、R3は統合庁舎の建設に係る合併特例債により高い水準にありますが、R3は返済元金以下の借り入れに抑えられていることから、地方債残高は減少に転じています。
- ・「99. 町税の収納率」は、高水準を維持しています。
- ・「100. 町単独補助金の件数」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少しています。
- ・「101. 町有財産売却件数」は、昨年度は新たに2件売却し、既に目標を上回っている状況です。

第2次南部町総合振興計画 進捗状況調査結果報告

基本目標	6	計画的・効率的な行財政運営を目指すまち	施策の方針	・国および県、関係機関との連携を強化して総合的な発展を進めていくとともに関係市町村との相互協力により広域行政を推進します。 ・八戸圏域連携中枢都市圏ビジョンに基づき、生活関連機能サービスの向上などに取り組んでいきます。
政策	16	効率的な行財政運営と広域行政の推進		
施策	40	広域行政の推進		

数値目標（ベンチマーク）と実績

項 目	単位	H28 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 実績	R9 目標	数値目標設定の考え方
なし		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	

令和4年3月31日時点での検証・評価

・広域行政の推進により、消防、ごみ処理等、単独では進めにくい事業を圏域で連携して実施できています。今後も国・県との連携強化を進めるとともに、八戸圏域連携中枢都市圏構成市町村との連携をさらに強化し、圏域として地域の活性化に取り組んでいく必要があります。
